

函南町古文書資料集(三)

大竹田中家古文書(巻)

函南町中央公民館図書室



110168952







序

平成九年三月

函南町教育委員会教育長

露木

稔

私たちの郷土函南町は、わが国でも有数の観光地―伊豆半島―への玄関口に位置し、北には富士を仰ぐ風光明媚な土地であります。温暖な気候風土に恵まれた自然環境とも相まって、いまや人口は三七、〇〇〇人を超え静岡県下第一位の町として発展を続けています。こうした状況において、社会生活の変化や多様化、それをとりまく環境も急変を遂げております。古くより伝わる風俗や慣習なども我々の目前からいつの間にか姿を消していくものも少なくはありません。

こうした現状に対し、貴重な資料の消滅や散逸を防ぎ、当町の近世の正しい歴史を知るため、昭和六十年より町内古文書収集調査事業を実施し今日に至っております。

今回ここに、その第三次調査成果として大竹・田中家（章氏 所蔵）古文書が二か年の調査期間を経て資料集第一分冊として発行できることは誠に意義深いことと存じます。本書が当函南町及び周辺地域における近世史を研究する上での好資料として広く活用されることを切望して発刊の序といたします。

終わりに、本書の刊行にあたりご尽力をいただいた調査員の皆様方、そして暖かいご理解とご協力を賜りました田中 章様に対しまして深甚なる謝意を表する次第であります。

- 一、本書は静岡県田方郡函南町大竹に所在する田中家古文書の資料集の第一分冊、田中家古文書資料集（老）である。
 - 二、田中家古文書は膨大な数であり、近代以降を除く主要な資料を二分冊で田中家古文書資料集として刊行する。
 - 三、田中家古文書の資料総数や目録は、次年度に刊行予定の田中家古文書資料集（式）に掲載する。
 - 四、本書に掲載した資料は、田中家古文書のうち支配関係、貢租関係、交通関係、身分関係のうち主要な十二点である。
 - 五、本書に係る資料は、平成六年度から平成八年度に函南町教育委員会が田中家より借り受けて、原本をコピー収集したものである。
 - 六、本書に係る事業は、函南町教育委員会が計画した町内古文書収集調査事業の第三次調査として、平成七年二月より平成九年三月にかけて行ない、資料の解説・原稿執筆は次の調査員（函南町歴史研究会会員等）に依頼し実施したものである。

氏名の次の（歴）は歴史研究会会員を示す。（敬称略、順不同）

香川 幸夫（歴） 田中 悟（歴）（平成七年二月～平成九年三月）
笠松 幸一（歴） 田中 茂子（歴）（平成七年二月～平成九年三月）
山田 幸次郎（平成七年二月～平成七年十月）
野上 裕子 高橋 義治（歴）（平成七年二月～平成七年七月、六月）
 - 七、本書を構成するにあたり次の点を統一している。
 - （一）文章は読み下し文とした。
 - （二）前行にある「被」「可」のように次行で読み下す場合、その文字の位置を示すため、前行に（ ）書きで示した。
 - （三）〇〇衛門、〇兵衛、候は活字体とした。
 - （四）虫喰、損傷などの不明箇所は、字数を推算し□□とした。
 - （五）文章及び文字の読み方が難解な箇所はルビをつけた。
 - （六）原文を尊重し、異体字は忠実にそのまま使用するように努めた。なお、宛字、誤字、その他疑問と思われる原字も原文のまま書いて（ママ）とした。
 - 八、本書の編集は、調査員の香川 田中 笠松 田中の四氏が行ない、大竹村の概説については「序説」として田中 悟 氏が執筆した。
 - 九、本事業に係る事務局は、函南町教育委員会社会教育課が担当し、資料（原本写、解説文、未掲載を含む）は事務局で保管している。
 - 十、巻末に、明治四年及び同六年に韮山縣に提出した大竹村の絵図面を掲載した。（田中家所蔵）
- 本書を作成するにあたり、調査の趣旨にご理解を示され快く資料をご提供くださった田中 章氏に対しまして、心より厚く御礼を申し上げます。本書の刊行をもって、僅かではありますがそのご好意に対する責務の一端を果たしたものと存じます。

目次

序説	1	嘉永二年	伊豆國田方郡大竹村切支丹宗門御改御帳	116
文祿三年	4	安政元年	助郷	139
天明五年	19	安政五年	當午御年貢米御蔵納出辻庭帳	143
天明七年	23	萬延元年	往還国役村入用小前割帳	161
文政六年	24			
天保十四年	65			
天保十四年	79			
弘化二年	91			
弘化四年	94			

序説

函南町大竹は、狩野川の支流、来光川と函南冷川の合流点を軸に、箱根山の裾野が狩野川平野に下る台地の末端に位置している。地名は、豆州志稿に「村人云フ、モト桑原ト一村ナル時、大竹林アリシ故、地名トス。」とあるが、現在も田中章家の裏山に、大きな竹林が見られる。

先土器時代の上原（俗称原の台）遺跡、古墳時代の「八重窪横穴群（町文化財指定）」（田中章家、飯塚勝家）もあり、かなり古くから人が住んでいたことが想像される。

大竹に関する文献は少ないが、一番古いことが書かれている文書に、大竹の杉山一男氏宅に保存されている「法園山光明院蓮華寺縁起」（以下「光明院縁起」とする）がある。これは、元禄二年・一六八九年頃に書かれたと思われるが、これによると「永暦元年・一一六〇年に、源頼朝が伊豆に流されてきたときに、一番初めに食糧を届けたのが、大竹の地を先祖から数代の采地としていた比企掃部亮藤原の遠宗というものだった」（現代文に意訳、以下同じ）とあり、「頼朝は、多いに喜んで、肌の守りにしていた観世音を遠宗に与え、『汝が領地に安置せよ、靈応無比の尊像なり』といったので、遠宗は、大竹に戻り一堂を建て頼朝の開運を祈った。」とある。

更に「頼朝は、治承四年・一一八一年に、平家討伐の旗を揚げ、源氏の時代を迎えたとき、この恩を忘れず遠宗の嫡子比企藤四郎能員を判官代とし、武蔵国比企郡一帯を与え、大竹は、北條遠江守時政に与えた。」と続いている。しかし、この事は、他の文献には出て来ないので、真偽のほどは定かではない。

応永五年・一三九八年の「走湯山領関東知行地注文」の豆州のうちに、「大田家村」がある。これは、大竹のことと考えられるので、室町時代には、伊豆山神社の社領であったようである。（三宝院文書／神奈川県資料編3）

「光明院縁起」には、『戦国時代を迎え、天文年間（一五三二～一五五五年）の頃には、跡かたもなく榛棘満々たる空原と化してしまった。』とあり、『天正十年・一五八二年に、織田信長の為に武田勝頼が滅ぼされ、武田の家臣も討たれたが、杉山五郎左衛門は、都留の里から山中（湖）に逃れ、三島に身を潜めていた。』

たまたま古老から一里ほど離れた大竹というところは、昔、北條の領地で繁盛していたが、今は狐狸の棲みかとなっている。その土地を開き住みついたらどうかと教えられ、喜んで移り住んでいると、半年ばかりの間に同じ武田の旧家臣栗田将監・田中助太郎・縫藤右衛門などが後を慕って尋ね来て、軒を並べて住むようになった。』とある。この人達の名の中に「文禄三年・一五九四年御縄打水帳」に出てくるのがある。

さらに「しかし、伊豆は永正の頃・一五〇四～一五二一年から、北条早雲の領地となり、此の辺の村々は、後北条の重臣間宮豊前守好高が治めていた。

ところが、天正十八年・一五九〇年の春、太閤秀吉が北條氏政を征伐のため、自ら出馬してくる。北條方は、驚いて山中の城に待ち受け戦争の用意をした。大竹の者は、全員小田原に籠もるべしとの命令により、杉山以下小田原に三か月と四日も籠城した。此時、大竹村は、軍勢の放火にあつて家は、残らず焼

き払われ、古来の記録も総て焼失してしまった。

同年七月七日、北條氏の降伏により小田原は落城し、杉山等は、皆大竹に戻り家を建てなおして住みついた。」とある。

同文書には、このあと、文禄三年・一五九四年の所謂「太閤検地」のことも記されているが、それからの事は、「歴研」第二二号（平成六年）及び第二三号（平成七年）誌上に平井の笠松幸一さんが発表された、「函南町の旧村々を支配した人々」及び同補正から、大竹村の部分を引用すると、

建久四年・一一九三年には、駿河伊豆守護職北條時政の支配。

明応二年・一四九三年……… 葦山城主伊勢新九郎領地。

天正一〇年・一五八二年……… 同北條美濃守氏規領地。

同 一八年・一五九〇年……… 葦山代官江川太郎左衛門英長支配。

慶長八年・一六〇三年……… 同代官江川太郎左衛門英政支配。

寛永九年・一六三二年……… 同代官江川太郎左衛門英利支配。

寛文六年・一六六六年……… 同代官江川太郎左衛門英暉支配。

元禄十一年・一六九八年……… 旗本阿部文蔵知行（一部・〇石九斗八升九合分）。

宝永元年・一七〇四年……… 葦山代官江川太郎左衛門英暉支配。

享保一〇年・一七二五年……… 三島代官河原清兵衛支配。

明和四年・一七六七年……… 葦山代官江川太郎左衛門英毅支配。

明和六年・一七六九年……… 上州館林藩松平右近将監領地。

天明五年・一七八五年……… 小田原藩大久保加賀守忠増領地。

明治元年・一八六九年……… 小田原藩知事大久保忠良支配。

同 年・同 年……… 葦山県知事江川英武支配（旗本阿部氏知行分）である。

村高は、文禄三年・一五六〇年の検地では、一〇二石余、元禄十五年・一七〇二年の元禄郷帳では、一〇五石〇〇四合、

天保五年・一八三四年の天保郷帳では、一〇五石一斗四升六合である。秋山富南の「豆州志稿」を伊豆長岡町小坂の

萩原正平、正夫父子が増訂した「増訂豆州志稿」を見ると（〇印は、原本、「増」印は、増訂分）

○ 大竹村

○ 田額百五石六合内新田三斗八升五合

〔増〕反別六拾五町八反七畝拾六歩、内、田八町三反一畝廿三歩、畑十三町五反五畝五歩、宅地一町六反九畝十六歩、山林三十九町七反八畝九歩、原野二町十五歩、

〔増〕地価金六千九百壹圓六拾九錢三厘、

となつている。

村高に対して、割り当てられた年貢米は、「年貢免状」に記されているが、函南町誌上巻（昭和四九年・一九七四年発行）

に、三島市の鈴木勝彦氏がまとめた表が掲載されているので紹介する。（別表）

大竹村年貢免状 集計表 (田中文書から)

	上田	中田	下田	上畑	下畑	屋敷	新田	見取	鮎運上	百姓林	夫米	夫 銭	口 永	口米	納米計	納金合
	石斗升合	石斗升合	石斗升合	石斗升合	石斗升合	石斗升合	石斗升合	石斗升合	永 文	永 文	石斗升合	永 文	永 文	石斗升合	石斗升合	永 文
貞享 2 年	14-212	16-524	12-124	0-4 4 0	1-2 9 6	1-7 5 9	下畑 0-0 8 7								46-442	
元禄 5 年	11-476	14-714	11-608	0-4 4 0	1-2 9 7	1-7 6 0	0-0 8 7								41-382	
元禄 9 年	10-980	12-501	9-967	0-3 3 4	0-9 4 4	1-7 6 0	0-0 7 0								36-556	
宝永 6 年	12-194	14-854	10-362	0-1 9 4	0-6 1 0	1-7 6 0	0-0 5 2								40-026	
寛延 3 年	13-481	15-475	10-005	0-3 4 9	1-2 7 4	1-8 6 3	0-0 2 1		0-0 5 0						42-468	0-0 5 0
寛延 4 年	13-481	15-475	10-005	0-3 4 9	1-2 7 4	1-8 6 3	0-0 2 1	0-2 8 9	0-0 5 0						42-757	0-0 5 0
宝暦 11 年	13-281	15-110	9-099	0-3 5 2	1-2 8 4	1-8 8 1	0-0 2 1	0-2 9 2	0-0 5 0						41-919	0-0 5 0
明和 1 年	13-627	15-625	10-098	0-3 5 2	1-2 8 4	1-8 8 1	0-0 2 1	0-2 9 2	0-0 5 0	0-1 0 0					43-180	0-1 5 0
明和 3 年	13-627	15-625	10-098	0-3 5 2	1-2 8 4	1-8 8 1	0-0 2 1	0-2 9 2	0-0 5 0	0-1 0 0					43-180	0-1 5 0
安永 8 年	田米合 42-062			畑米合 3-1 5 9			0-0 2 1	0-2 9 2	0-0 5 0	0-1 0 0	0-1 6 6	0-1 3 0.4	0-0 0 4.5	1-3 0 1	47-0 0 1	0-2 8 4.9
天明 4 年	田米合 42-062			畑米合 3-1 5 9			0-0 2 1	0-2 9 2	0-0 5 0	0-1 0 0	0-1 6 6	0-1 3 0.4	0-0 0 4.5	1-3 0 1	47-0 0 1	0-2 8 4.9
寛政 10 年	14-406	16-584	11-592	0-3 6 6	0-9 4 7	1-5 6 4	0-0 2 3	0-2 8 1	0-0 5 0	0-1 0 0			0-0 0 4.5		46-446	0-1 5 4.5
寛政 12 年	14-406	16-584	11-592	0-3 6 6	0-9 4 7	1-5 6 4	0-0 2 3	0-2 8 1	0-0 5 0	0-1 0 0			0-0 0 4.5		46-446	0-1 5 4.5
文化 8 年	14-406	16-584	11-490	0-3 6 6	0-9 4 7	1-8 8 9	0-0 2 3	0-2 8 1	0-0 5 0	0-1 0 0			0-0 0 4.5		41-769	0-1 5 4.5
天保 15 年	11-379	13-074	10-027	0-3 6 6	0-9 4 7	1-8 8 9	0-0 2 3	0-2 8 1	0-0 5 0	0-1 0 0			0-0 0 4.5		38-669	0-1 5 4.5
弘化 3 年	14-406	16-584	11-490	0-3 6 6	0-9 4 7	1-8 8 9	0-0 2 3	0-2 8 1	0-0 5 0	0-1 0 0			0-0 0 4.5		46-669	0-1 5 4.5
安政 3 年	13-638	16-104	11-490	0-3 6 6	0-9 4 7	1-5 6 4	0-0 2 3	0-2 8 1	0-0 5 0	1-1 0 0			0-0 0 4.5		44-356	0-1 5 4.5

※

この段の記入は年貢免状上での表われであつて正しい年度ではない。

寛延三年より百姓林株場年貢が小物成として課せられる。
寛延四年より鮎運上が小物成として課せられる。
寛延四年より見取に本途者成が課せられる。

安永八年より口永が課せられる。

寛延三年より小物成が課せられるようになる。

文祿三年甲午七月十日

豆州君澤郡大竹村御繩打水帳

文祿三年甲午七月十二日

豆州君澤郡大竹村御繩打水帳

中田三段式拾貳步
 中田四段式拾伍步
 中田二段式拾貳步
 中田三段式拾貳步
 中田二段式拾貳步
 中田三段式拾貳步
 中田二段式拾貳步
 中田三段式拾貳步

中田三
 中田四
 中田二
 中田三
 中田二
 中田三
 中田二
 中田三

拾五々(貫)分
 中田 老畝拾步 縫之助主作
 同所
 中田 四段五畝拾五步 同 人
 同所
 下田 老畝九步 同 人
 宮下 右馬助分
 中田 貳段三畝廿步 宇兵衛間作
 宮下
 下田 老段八畝五步 孫左衛門主作
 宮下 杉山分二入
 下田 老段貳畝拾五步 惣左衛門主作
 同所 杉山分
 下田 老段貳畝拾八步 五右衛門主作
 同所
 下田 老段貳畝老步 善左衛門主作
 同所
 下田 老段三畝貳拾貳步 杉山五郎左衛門主作
 同所
 中田 三段貳拾貳步 同 人

杉山分
 右馬丞主作
 杉山左近
 修理主作
 將監主作
 中田三郎左衛門
 中田以上老町式段三畝五步
 下田以上八段三畝五步
 此内老畝九步當不作
 田合式町六畝拾步
 右之外
 江川民部丞
 下田五畝步 永不作
 矢野五郎兵衛
 伊熊御繩之内
 佐野彦平
 文祿三年 七月 甲 十二日
 村田二郎左衛門
 杉山左近

上田武段六畝拾四步

太郎右衛門

上田九畝五步

孫左衛門

中田八畝貳拾四步

將監

上島五畝拾四步

源左衛門

上島三畝六步

將監

上島五畝拾貳步

同所

中田七畝步

同所

上田以上三段五畝拾五步

中田以上老段五畝貳拾四步

上島以上老段貳步

田島合六段老畝拾老步

手替り

上田武段六畝拾四步

太郎右衛門

同所

上田九畝五步

孫左衛門

同所

中田八畝貳拾四步

將監

同所

上島老畝拾四步

源左衛門

同所

上島三畝六步

將監

同所

上島五畝拾貳步

同所

同所

中田七畝步

善七郎

杉山分入

午
七月十二日

寸三付式枚

佐野元成

松本織部

眞田新三

市川甚三

白井善六

杉山五郎左衛門

主

日人

日人

日人

下田式畝式拾步
下田三畝步
下畠九畝式步
下畠四畝拾步

午
七月十二日

寸三付式枚

佐野元成

松本織部

眞田新三

市川甚三

白井善六

杉山五郎左衛門

下ひ八川

下田四段五畝步

同所

下田式畝式拾步當不作主 水

同所

下田三畝步

同 人

同所

下畠九畝式步

杉 山

同所

下畠四畝拾步

同 人

田島合志町五段老歌六歩
杉山五郎左衛門

中田以上老段式拾七歩

下田以上老町式歌拾三歩
此内式歌廿歩
當不作

下島以上三段七歌式拾六歩

田島合志町五段老歌六歩

午七月十三日

廣瀬又兵衛

安武孫十郎

渡邊弥十郎

後藤右近

金子善三郎

墨付四枚

田じりノ上

下島老段老歌八歩 杉山五郎左衛門

中田以上老段式拾七歩

下田以上老町式歌拾三歩

此内式歌廿歩
當不作

下島以上三段七歌式拾六歩

田島合志町五段老歌六歩

午七月十三日

廣瀬又兵衛

安武孫十郎

渡邊弥十郎

後藤右近

金子善三郎

墨付四枚

中田孝段拾五步
 中田孝段五畝廿五步
 上田孝段貳畝廿步
 上田三畝壹步
 上田三畝八步
 上田八畝三步
 上田七畝步
 上田四畝六步
 上田孝段拾貳步
 上島孝段廿步

甚右衛門主作
 助太郎主作
 杉山五郎左衛門主作
 同人主作
 清三主作
 同人主作
 主膳主作
 杉山五郎左衛門
 右午助主作
 杉山分二入
 助六主作

同所
 中田孝段拾五步
 同所市原
 中田孝段五畝廿五步
 同所
 上田孝段貳畝廿步
 同所
 上田三畝壹步
 同所
 上田三畝八步
 同所
 上田八畝三步
 永原
 上田七畝步
 同所
 上田四畝六步
 水金
 上田孝段拾貳步
 矢崎
 上島孝段廿步

甚右衛門主作
 助太郎主作
 杉山五郎左衛門主作
 同人主作
 清三主作
 同人主作
 主膳主作
 杉山五郎左衛門
 右午助主作
 杉山分二入
 助六主作

上島式段八畝廿歩
 下島式段八歩
 上島式段六歩
 下島式段六歩
 上島式段廿四歩
 下島式段廿四歩
 上島式段六歩
 下島式段六歩
 上島式段八畝廿歩
 下島式段八歩
 上島式段六歩
 下島式段六歩

杉山五郎左衛門
 同人主作
 同人主作
 同人主作
 藤十郎主作
 助太郎主作
 縫右衛門主作
 人
 人

矢崎
 上島老畝拾歩
 同所
 下島老畝廿歩
 同所
 下島老畝式歩
 同所
 上島老畝六歩
 同所
 上島式畝廿四歩
 中嶋
 上田式段八畝廿歩
 同所
 上島拾六歩
 さいの神
 下島老畝拾八歩
 同所
 下島拾歩
 寺屋しき
 下島式畝廿歩
 同
 人
 人
 人
 人
 人
 人
 人
 人
 人

大島 下島五畝廿八歩
 同所 下島老畝廿歩
 同所 下島老畝廿歩
 同所 下島老畝拾歩
 屋敷式畝拾貳坪 右馬丞
 屋敷老畝廿坪 杉山分 助六
 屋敷六畝拾六坪 杉山五郎左衛門
 屋敷老畝坪 修理
 屋敷貳畝拾貳坪 孫左衛門
 屋敷三畝廿九坪 栗田

大島

下島五畝廿八歩

助太郎主作

同所

下島老畝廿歩

同人

同所

下島老畝廿歩

同人

同所

下島老畝拾歩

同人

屋敷式畝拾貳坪

杉山分 右馬丞

屋敷老畝廿坪

杉山分 助六

屋敷六畝拾六坪

杉山五郎左衛門

屋敷老畝坪

修理

屋敷貳畝拾貳坪

孫左衛門

屋敷三畝廿九坪

栗田

屋敷老町六坪
 屋敷六畝拾五坪
 屋敷三畝廿坪
 上田以上老町七畝廿八步
 中田以上老町三反式畝廿三步
 下田以上三段廿六步
 上畠以上七畝拾六步
 下畠以上老段七畝八步
 屋敷以上式段九畝拾坪
 田畠屋敷三町式段五畝廿老步
 右之外下田三畝步 永不作

屋敷老畝六坪 同人

屋敷六畝拾五坪 助太郎

屋敷三畝廿坪 縫右衛門

上田以上老町七畝廿八步

中田以上老町三反式畝廿三步

下田以上三段廿六步

上畠以上七畝拾六步

下畠以上老段七畝八步

屋敷以上式段九畝拾坪

田畠屋敷三町式段五畝廿老步

右之外下田三畝步 永不作

下島式反卷畝拾歩 永不作
日吉反式畝廿歩 同

伊熊御繩之内

江川民部丞

文禄三年甲申七月十日

矢野五郎兵衛
佐野彦平

墨付七枚

村田二郎左衛門
杉山左近

上田三反畝拾歩

右馬之助主作

上田三反畝拾歩

縫右衛門主作

上田三反畝拾歩

杉山主作

上田三反畝拾歩

同人主作

上田五畝廿三步

栗田主作

はつさいけ
上田三反畝拾歩
右馬之助主作

井領免
上田三反畝拾歩
縫右衛門主作

六反田
中田三反畝拾歩
杉山主作

中嶋
上田三反畝拾歩
同人主作

家ノ前
上田五畝廿三步
栗田主作

上田武段武歩

上田四段廿歩

上田七段拾七歩

上田七段拾七歩

上田七段拾七歩

上田七段拾七歩

上田七段拾七歩

上田七段拾七歩

上田七段拾七歩

上田七段拾七歩

上田七段拾七歩

いへのまへ
上田五畝武歩
同人主作

同所
上田四畝廿歩
孫左衛門主作

同所
上田七畝拾七歩
同人主作

同所
上田七畝拾七歩
同人主作

同所
上田七畝拾七歩
藤十郎主作

矢崎
中田七畝拾七歩
同人主作

同所
上田七畝拾七歩
縫右衛門主作

同所
上田七畝拾七歩
助太郎分二入

同所
上田七畝拾七歩
与三左衛門主作

同所
上田七畝拾七歩
杉山分二入

同所
上田七畝拾七歩
助六主作

同所
上田七畝拾七歩
同人分二入

同所
上田七畝拾七歩
同人主作

下島 五段七部
 下島 五段七部
 下島 五段七部

上田 三段拾九步
 中田 三段四畝六步
 下田 三段三畝拾八步
 下島 七段七部

田島合式町七段七部

午
 七月十二日

墨付五枚

奈倉甚七郎
 怒栗弥平次
 鈴木外記助
 都筑喜右衛門
 大場彦太夫

おちあい
 下島 七段七部
 五郎左衛門主作
 同人主作

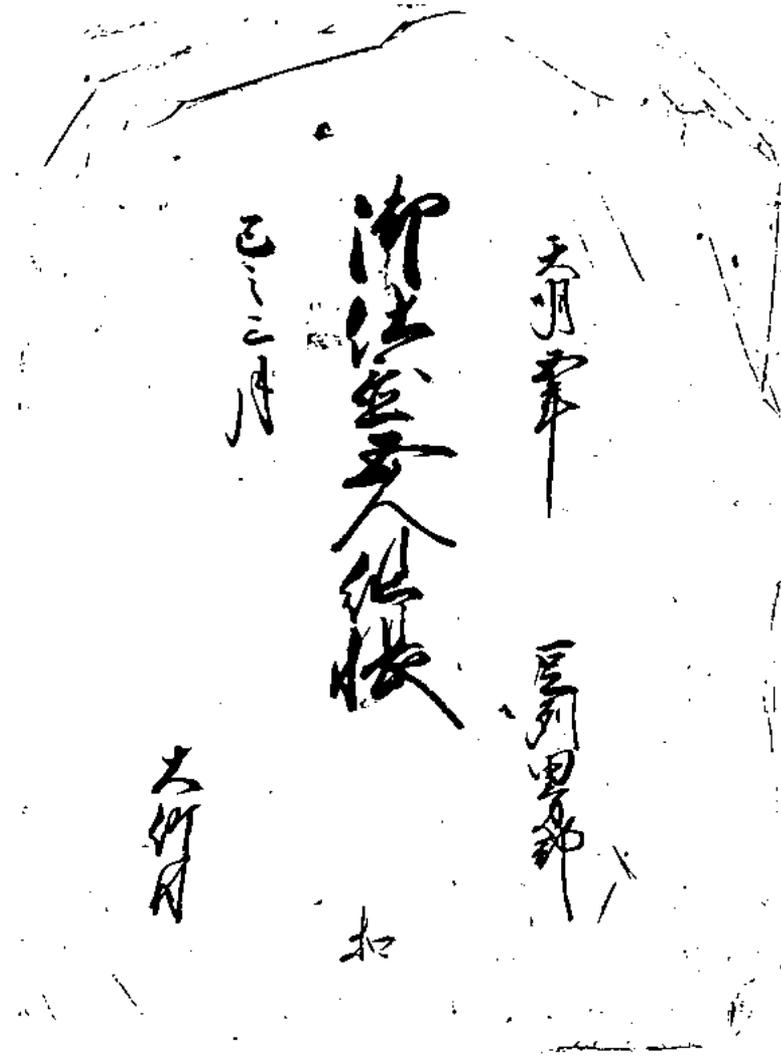
上田 町三段拾九步
 中田 三段四畝六步
 下田 三段三畝拾八步
 下島 七段七部四步

田島合式町七段七部

午
 七月十二日

墨付五枚

奈倉甚七郎
 怒栗弥平次
 鈴木外記助
 都筑喜右衛門
 大場彦太夫



天明五年

御仕置五人組帳

扣(控)

巳之正月

大竹村

覺

一、從ニ公儀ニ被ニ仰出候御法度御

ケ條之趣、堅ク相守リ可申候事、

一、第一親に孝行ヲ尽し、主從礼義ヲ正シ

夫婦相宜敷万端実跡にもとづき

各々家業大切ニ可仕候事、

一、不レ依ニ何事ニによらず、御用向被ニ仰渡候

通り急度相勤可申候、總而村内之御用ニ而も

無ニ間違ニ急度相勤可申候事、

一、五人組之内ニ而何事ニつけても我俣之

勤仕候公急度矣(異)見之差加へ可申候、再應之儀ニ

および候而も不用ニ候公、出役早々許可申候事

覺

右御ケ條之趣、堅ク相守リ可レ申候、若し又
 違背之趣於有之者早々可レ申出候、爲後日五人
 組加判、依而如レ件

有之者

巳之三月

大竹村

五人組

五人組

利兵衛 勘兵衛 平三後家 三郎右衛門 由右衛門後家 三右衛門 七郎兵衛後家 平右衛門後家 文蔵

右御ケ條之趣、堅ク相守リ可レ申候、若し又
 違背之趣於有之者早々可レ申出候、爲後日五人
 組加判、依而如レ件

天明五年 巳之三月 豆州田方郡 大竹村

五人組 勘兵衛 平三後家 三郎右衛門

五人組 利兵衛 由右衛門後家 三右衛門 はる 七郎兵衛後家 平右衛門後家

文蔵

御役所

彦兵衛
 定七後家
 庄右衛門
 仁右衛門
 甚兵衛
 仁兵衛
 伊左衛門
 源兵衛後家
 忠左衛門後家
 七郎兵衛
 さよ
 太郎右衛門
 弥惣右衛門

中村
御役所

組頭	五人組	六人組
名主	彦兵衛 ㊦	源兵衛後家 ㊦
	定七後家 ㊦	忠左衛門後家 ㊦
	庄右衛門 ㊦	七郎兵衛 ㊦
	仁右衛門 ㊦	さよ ㊦
	甚兵衛 ㊦	太郎右衛門 ㊦
	仁兵衛 ㊦	弥惣右衛門 ㊦
	伊左衛門 ㊦	

覚

一、高百四石壹升六合

此反別九町四反三畝貳拾四步

此反

田方八町壹反五畝貳拾九步
畑方壹町貳反七畝貳拾五步

外
見取畑四反五步

苜蓿反二付七畝

馬屋肥、反二付五畝

草苜場、村方拾五町貳拾町追、一日馬貳駄人四人宛

田之草者三度

種粉者、反二付七升八升追

家數貳拾三軒

馬四疋

右筆書上相違無御座候、以上

豆州田方郡大竹村

天明七未年五月

名主 弥惣右衛門
与頭 太郎右衛門
百姓代 彦兵衛

佐藤和兵衛様

佐藤和兵衛様

文政六年

大竹村田畑屋鋪名寄帳

癸未二月

名主兵藏

文政六年

大竹村田畑屋鋪名寄帳

癸未二月

名主兵藏

傳左衛門

傳左衛門 前

一、上畑拾六步

分米三升七合

一、上畑拾六步

分米三升七合

一、中田卷反五畝拾五步

分米三石八斗六升

一、中田卷反五畝拾五步 堀之内

分米三石八斗六升

一、下畑卷反八步

分米貳斗壹升四合

一、下畑卷反八步 田尻之上

分米貳斗壹升四合

一、上田卷反壹畝拾壹步

分米壹石四斗七升八合

一、上田卷反壹畝拾壹步 船原

分米壹石四斗七升八合

一、上畑拾六步

分米三升七合

一、上畑拾六步 中嶋

分米三升七合

下田九畝步
合米九斗七合
主下

合
わ
け

反別合四反八畝拾壹步
分米合四石九斗七升九合
外
下畑式拾壹步
下冷川
官米三升五合

一、下田九畝式步 宮 下

分米九斗七合

合 わ け

反別合四反八畝拾壹步

分米合四石九斗七升九合

外 榮藏入

下畑式拾壹步 下冷川

分米三升五合

伴


原鋪壹畝廿五步
分米壹斗八升三合

惣


原鋪壹畝拾五步
分米壹斗五升

伴
藏 

一、原鋪壹畝廿五步
分米壹斗八升三合

惣
助 

一、原鋪壹畝拾五步
分米壹斗五升



又兵衛 ㊦

一、屋鋪老畝步
分米三石九斗

一、屋敷老畝六步
分米三石九斗

分米三石九斗

一、上畑武畝拾壹步
分米三石九斗

分米三石九斗

一、下畑四畝拾步
分米三石九斗

分米三石九斗

一、上田三反拾步
分米三石九斗

分米三石九斗

一、屋鋪老畝步

分米三石九斗

一、屋敷老畝六步

分米三石九斗

文左衛門分入

一、上畑武畝拾壹步

分米三石九斗

屋敷添

一、下畑四畝拾步

分米三石九斗

下冷川

一、上田三反拾步

分米三石九斗

井領免

日
三
下
三
三
三

一
中
田
武
反
三
畝
廿
八
步
拾
五
貫
目
分
米
貳
石
八
斗
七
升
貳
合

日
六
步
溝
代
引
分
米
貳
升
四
合

合
わ
け

反
別
合
六
反
三
畝
五
步
分
米
合
七
石
四
斗
壹
升
八
合

内

壹 畝 步 前々川欠

分 米 壹 斗 三 升

一、中田武反三畝廿八步 拾五貫目

分米貳石八斗七升貳合

内

六 步 溝代引

分 米 貳 升 四 合

合 わ け

反 別 合 六 反 三 畝 五 步

分 米 合 七 石 四 斗 壹 升 八 合

文左衛門

文左衛門

一、上田田卷反六畝拾五歩
分米式石壹斗四升五合

一、上田田卷反六畝拾五歩 同 所
分米 六斗六合

一、上田田卷反六畝拾五歩
分米式石壹斗四升五合
内 畝 歩
式 畝 歩
分米 式 斗 六 升

一、上田田卷反六畝拾五歩 同 所
分米式石壹斗四升五合
内 畝 歩
式 畝 歩
分米 式 斗 六 升

一、上田田卷反六畝拾五歩
分米式石壹斗四升五合

一、上田田卷反六畝拾五歩 同 所
分米式石壹斗四升五合

合 わ け

合 わ け

反別合三反三畝七步
分米合四石三斗壹升五合

源助

上畑壹畝六步
分米八升四合

反別合三反三畝七步
分米合四石三斗壹升五合

源助

上畑壹畝六步
分米八升四合
矢崎

宗七

宗七

一、屋鋪三畝拾五步

分米三斗四升

一、屋鋪三畝拾五步

分米三斗四升

一、上畑三畝六步手替り

分米貳斗貳升四合

一、上畑三畝六步手替り

分米貳斗貳升四合

合

合

反別合六畝拾八步
分米合五斗六升四合

反別合六畝拾八步
分米合五斗六升四合

甚藏印

上田七畝步 船原
分米九斗一升

上田卷反五畝廿卷步 同所
分米貳石四升壹合

合わけ

反別合貳反二畝廿卷步
分米合貳石九斗五升壹合

外

上田三反拾八步 彦兵衛田
分米三石九斗七升八合

甚藏印

一、上田七畝步 船原
分米九斗一升

一、上田卷反五畝廿卷步 同所
分米貳石四升壹合

合わけ

反別合貳反二畝廿卷步
分米合貳石九斗五升壹合

外

上田三反拾八步 彦兵衛田
分米三石九斗七升八合

作平治

一、下畑五畝廿八歩 大畑毛

合米貳斗九升七合

一、下畑壹畝下 日新

合米五升

一、下畑壹畝拾歩 日新

合米六升七合

合米

反別合八畝八歩

合米合四斗壹升四合

作平治

一、下畑五畝廿八歩 大畑毛

分米貳斗九升七合

一、下畑壹畝下 同所

分米五升

一、下畑壹畝拾歩 同所

分米六升七合

合 わ け

反別合八畝八歩

分米合四斗壹升四合

仁右衛門

仁右衛門 ㊦

下畑貳拾四歩才之神

分米四升

當辰良八方入

下畑拾歩 日取

分米七升七合

合 わ け

反別合壹畝四歩

分米合五升七合

一、下畑貳拾四歩才之神

分米四升

當辰良八方入

一、下畑拾歩 同 所

分米七升七合

合 わ け

反別合壹畝四歩

分米合五升七合

兵藏所

一、下田老反五畝拾五步

分米老石九斗三升三合

一、中田老反五畝拾五步

分米老石九斗三升三合

一、中田老反五畝拾五步

分米老石九斗三升三合

一、中田老反拾步

分米老石四斗四升

合 拾

兵 藏 所

一、下田老反廿六步 家之下

分米老石八升七合

一、下田老反三畝拾八步 同 所

分米老石三斗六升

一、中田老反五畝拾五步 堀之内

分米老石九斗三升三合

一、中田老反拾步 四反田

分米老石四斗四升

合 拾

反別合五反卷六步
合米合五石九式升

反別合五反卷六步
分米合五石九式升

藤兵衛

藤兵衛

④

一、屋鋪卷六步
分米合五石九式升

一、屋鋪卷六步
分米合五石九式升

光明院

一、下畑拾五步 下冷川

合米貳升五合

一、下田耆反耆畝歩 同所

合米壹石七斗

一、下田耆反耆畝歩 同所下之方

合米壹石壹斗

一、下田九畝三步 宮 下

合米九斗壹升

内 九畝歩 去亥之荒

合米九斗

一、中田八畝廿四歩 手替リ

光明院

一、下畑拾五步 下冷川

分米貳升五合

一、下田耆反耆畝歩 同所

分米壹石七斗

一、下田耆反耆畝歩 同所下之方

分米壹石壹斗

一、下田九畝三步 宮 下

分米九斗壹升

内 九畝歩 去亥之荒

分米九斗

一、中田八畝廿四歩 手替リ

分米壹石五升六合

上田卷反三畝廿八步

分米壹石八斗壹升壹合

合 伍 拾

反別合五反四畝拾步
分米壹石六斗壹合

分米壹石五升六合

一、上田卷反三畝廿八步 矢崎

分米壹石八斗壹升壹合

合 伍 拾

反別合五反四畝拾步

分米壹石六斗壹合

忠七

一、下畑四畝六步 下冷川

分米貳斗壹升

一、上田壹反拾貳步 水汲ど

分米壹石三斗五升貳合

合 拾 付

反別合壹反四畝拾八步
分米合壹石五斗六升貳合

外

平右衛門

一、屋鋪壹畝廿三歩

分米壹斗七升七合

忠七

一、下畑四畝六步 下冷川

分米貳斗壹升

一、上田壹反拾貳步 水汲ど

分米壹石三斗五升貳合

合 拾 付

反別合壹反四畝拾八歩
分米合壹石五斗六升貳合

外

平右衛門

一、屋鋪壹畝廿三歩

分米壹斗七升七合

幸左衛門

一、下田老反拾五步 下冷川

分米卷石五升

一、下田老反貳分同 所

分米卷石貳斗

一、下畑拾貳步 前畑毛

分米貳升

一、上田老反五畝老步 初才毛

分米卷石九斗五升五合

一、下畑三畝步 下冷川

分米卷斗五升

幸左衛門

一、下田老反拾五步 下冷川

分米卷石五升

一、下田老反貳畝分同 所

分米卷石貳斗

一、下畑拾貳步 前畑毛

分米貳升

一、上田老反五畝老步 初才毛

分米卷石九斗五升五合

一、下畑三畝步 下冷川

分米卷斗五升

一、中田卷反五畝廿三步 矢崎
分米 卷石 八斗九升貳合

一、上田武反六畝拾四步 手替リ
分米 三石 四斗四升四合

一、下田武反三畝步 下冷川
分米 貳石 三斗

一、下田五畝貳步 同所上之分
分米 五斗 七合

一、下畑八畝貳步 同所のおき
分米 四斗 四合

合 わ け

一、中田卷反五畝廿三步 矢崎

分米 卷石 八斗九升貳合

一、上田武反六畝拾四步 手替リ

分米 三石 四斗四升四合

一、下田武反三畝步 下冷川

分米 貳石 三斗

一、下田五畝貳步 同所上之分

分米 五斗 七合

一、下畑八畝貳步 同所のおき

分米 四斗 四合

合 わ け

上田反卷五畝拾五步

分米五石三斗九升八合

中田卷反五畝廿三步

分米五石八斗九升貳合

下田六反拾七步

分米五石壹斗貳升

下畑卷反卷畝拾四步

分米五斗七升四合

反別合卷町卷反九畝九步

分米合拾貳石九斗貳升壹合

上田四反卷畝拾五步

分米五石三斗九升八合

一、中田卷反五畝廿三步

分米五石八斗九升貳合

一、下田六反拾七步

分米五石壹斗貳升

一、下畑卷反卷畝拾四步

分米五斗七升四合

反別合卷町卷反九畝九步

分米合拾貳石九斗貳升壹合

五郎左衛門

一、屋鋪六畝步

合米六斗

二、上畑老畝廿四步 屋敷添

合米老斗貳升三合

三、下畑貳畝廿貳步 同所

合米老斗三升六合

四、上田四畝六步 前田

合米五斗四升六合

合米

五、別合卷反四畝廿六步

合米合卷石四斗五合

五郎左衛門

一、屋鋪六畝步

分米六斗

二、上畑老畝廿四步 屋敷添

分米老斗貳升三合

三、下畑貳畝廿貳步 同所

分米老斗三升六合

四、上田四畝六步 前田

分米五斗四升六合

合米

五、別合卷反四畝廿六步

分米合卷石四斗五合

庄左衛門

庄左衛門 印

一、下畑四畝廿五步 寺屋敷
分米貳斗貳升六合

一、下畑壹畝貳拾步 大畑毛
分米八升三合

一、下畑壹畝貳拾步 落
分米六斗五合

内老反拾步 田成
殘而老畝廿三步

一、下畑貳畝五步 落
分米壹斗八合 田成

一、下田壹反三畝廿貳步 山伏木
分米壹石三斗七升三合

一、下畑四畝廿五步 寺屋敷
分米貳斗貳升六合

一、下畑壹畝貳拾步 大畑毛
分米八升三合

一、下畑壹畝貳拾步 落
分米六斗五合

内老反拾步 田成
殘而老畝廿三步

一、下畑貳畝五步 落
分米壹斗八合 田成

一、下田壹反三畝廿貳步 山伏木
分米壹石三斗七升三合

一、下田三畝廿步 日新

合米石六斗八合

一、中田武反老畝廿步 拾五貫め

合米貳石六斗

一、下田五畝拾八步 下冷川

合米五斗六升

合 わ け

反別合六反五畝拾五步
分米合六石三合

一、中田三畝廿步 同 所

分米四斗四升八合

一、中田武反老畝廿步 拾五貫め

分米貳石六斗

一、下田五畝拾八步 下冷川

分米五斗六升

合 わ け

反別合六反五畝拾五步

分米合六石三合

良八

良 八 ⑧

一、相三畝步 下冷川

分米壹石八斗

一、下畑三畝步 下冷川

分米壹石五斗

一、下畑武拾四步 才之神

一、下畑武拾四步 才之神
分米四升 当辰源右衛門分入

一、下田武反武畝拾五步 宮下

分米壹石武斗五升

一、下田武反武畝拾五步 宮下

分米壹石武斗五升

一、下田武反三畝廿九步 同所

分米武石三斗九升七合

一、下田武反三畝廿九步 同所

分米武石三斗九升七合

一、中田武反三畝拾步 四反田

分米武石八斗

一、中田武反三畝拾步 四反田

分米武石八斗

一、中田武反武畝四步 宮下

分米壹石四斗五升六合

一、中田武反武畝四步 宮下

分米壹石四斗五升六合

中田反七畝拾四步
分米壹石三斗貳升八合

下畑拾步
分米貳升

合 わ け

中田反六畝拾六步

分米五石五斗八升四合

下田三反六畝拾四步

分米三石六斗壹升四合

下畑四畝四步

分米貳斗壹升

反別合八反七畝四步

分米合九石四斗八合也(合)

一、中田壹反壹畝貳步同 所

分米壹石三斗貳升八合

二、下畑拾步 才之神

分米貳升

合 わ け

中田四反六畝拾六步

分米五石五斗八升四合

下田三反六畝拾四步

分米三石六斗壹升四合

下畑四畝四步

分米貳斗壹升

反別合八反七畝四步

分米合九石四斗八合也(合)

久右衛門

一、屋鋪三畝

分米三斗

一、上畑

分米三斗

一、中田

分米三斗

合

反別合

久右衛門 申

一、屋鋪三畝 三步 大畑毛

分米三斗 卷升

一、上畑 卷畝廿步 屋敷添

分米 卷斗 卷升 六合

一、中田 卷反三畝拾五步 堀之内

分米 卷石 六斗 式升

合 わ け

反別合 卷反八畝 八步

分米 合式石 四斗 六合

源兵衛

一、中田巻反式畝拾八歩白畑毛
分米巻石五斗巻升式合

一、下田巻反廿五歩 宮 下
分米巻石八升三合

合 わ け

反別合式反三畝拾三歩
分米合式石九斗五升五合

源兵衛 印

一、中田巻反式畝拾八歩白畑毛

分米巻石五斗巻升式合

一、下田巻反廿五歩 宮 下

分米巻石八升三合

合 わ け

反別合式反三畝拾三歩

分米合式石九斗五升五合

海邊

玉澤
弥右衛門 ㊦

一、中田卷反式畝拾七步

分米卷石八斗

一、中田卷反式畝拾七步 宮 下

分米卷石八斗

一、中田卷反式畝拾七步

分米卷石五斗八合

一、中田卷反式畝拾七步 同 所

分米卷石五斗八合

合 々 々

合 々 々

反別合式反七畝拾七步
分米合三石三斗八合

反別合式反七畝拾七步
分米合三石三斗八合

玉澤
大工

中田式反式畝廿七步

合尺式石七斗四升八合

内
拾 步 溝 代 引

分米四升

中田七畝步 同 所

分米八斗四升

内
式 畝 式 步 前々川欠

分米式斗式升八合

合 わ け

反別合式反九畝廿七步

分米合三石五斗八升八合

外
下田壹畝九步 拾五頁目

分米壹斗三升

玉澤
太兵衛

新
お志げ

一、中田老反五畝拾歩寺下

分米老石八斗四升

上澤

久七

一、下畑老反五畝下冷川

分米老石八斗四升

同所

お志げ 印

一、中田老反五畝拾歩寺 下

分米老石八斗四升

上澤

久七 印

一、下畑老反五畝下冷川

分米老石八斗四升

新
幸左衛門

一、下田巻畝貳拾七步 下冷川

合米壹石肆斗九升

一、中田巻反廿七步

合米壹石三斗八合

合
わ
け

反別合巻反貳畝廿七步

合米合壹石四斗九升八合

同所
幸左衛門

一、下田巻畝貳拾七步 下冷川

分米壹石肆斗九升

一、中田巻反廿七步 同所

分米壹石三斗八合

合
わ
け

反別合巻反貳畝廿七步

分米合壹石四斗九升八合

桑原
傳之

一、中田吉畝六歩拾五貫め
分米壹斗四升四合

郷散田

一、上畑吉畝拾四歩

手替り

一、米貳拾俵五升貳合
貳俵三斗八升六勺
貳三俵壹斗貳合六勺

内
九俵壹斗四升三合四勺
御檢見引石
引拾三俵貳斗八升九合貳勺

桑原
傳藏

一、中田吉畝六歩拾五貫め
分米壹斗四升四合

郷散田

一、上畑吉畝拾四歩
手替り

分米壹三斗三合

一、米貳拾俵五升貳合
貳俵三斗八升六勺
貳三俵壹斗貳合六勺

内
九俵壹斗四升三合四勺
御檢見引石
引拾三俵貳斗八升九合貳勺

中田卷石

一、上畑五畝拾貳步

分米三斗七升八合

一、上田式反八畝廿步中嶋

分米三石七斗貳升六合

内 式反廿步 前々川欠

八畝步 去亥川欠

一、中田卷反五畝廿五步船原

分米壹石九斗

内 式畝廿六步 郷藏敷

分米貳斗八升七合

一、上畑五畝拾貳步手替り

分米三斗七升八合

一、下田卷反五畝拾貳步堀之内

分米壹石五斗四升

栄藏印

一、下田式反廿四步 堰 平

分米式石八斗

内 式 畝 拾 步 前々川欠

分米式斗三升三合

一、下畑三畝拾五步 下冷川

分米式斗七升五合

一、上田九畝五步 手替り

分米式石壹斗九升式合

一、下畑四畝步 長畑毛

分 米 式 斗

一、下畑四畝步 長畑毛

分米式斗

一、上田式反廿四步 家之前

分米式石八斗壹升式合

一、上田式反廿四步 家之前

分米式石八斗壹升式合

下畑武藏廿六步落合
分米九斗五升七合

下田卷反卷畝八步田尻
分米壹石壹斗貳升七合

下田卷反拾五步同所
分米壹石五升

中田卷反六畝廿步六反田
分米貳石
内貳反 去亥川欠

下田九畝拾七步矢崎
分米九斗五升七合

合

一、下畑武藏廿六步落合
分米壹斗四升四合

一、下田卷反卷畝八步田尻
分米壹石壹斗貳升七合

一、下田卷反拾五步同所
分米壹石五升

一、中田卷反六畝廿步六反田
分米貳石
内貳反 去亥川欠

一、下田九畝拾七步矢崎
分米九斗五升七合

合 わ け

上田反九畝拾四步
分米七石七斗貳升八合

中田三反貳畝拾五步

分米三石九斗

下田六反七畝六步

分米六石七斗五升四合

上畑五畝拾貳步

分米三斗七升八合

下畑壹反拾壹步

分米五斗壹升九合

屋鋪六畝拾五步

分米六斗五升

反別合壹町八反壹畝廿三步
分米合拾九石九斗貳升九合

内

下畑廿壹步

伝左衛門五入
下冷川

分米三斗五合

下冷川

下畑廿壹步

伝左衛門五入

反別合壹町八反壹畝廿三步

分米合拾九石九斗貳升九合

内

(二) 上田五反九畝拾四步

分米七石七斗貳升八合

中田三反貳畝拾五步

分米三石九斗

下田六反七畝六步

分米六石七斗五升四合

上畑五畝拾貳步

分米三斗七升八合

下畑壹反拾壹步

分米五斗壹升九合

屋鋪六畝拾五步

分米六斗五升

上田卷反三畝拾五步中嶋

分米三拾七石貳斗三升貳合

内 貳町廿貳步前々川欠

分米壹石七斗五升五合

九畝拾壹步去亥川欠

分米壹石貳斗壹升七合

合 壹反貳畝三步引

殘而 壹畝拾貳步

右之寄

上田貳町七反壹畝七步

分米三拾七石貳斗三升貳合

中田三町壹反八步

分米三拾七石貳斗三升貳合

(玉澤覺左衛門分榮藏贈)

上田壹反三畝拾五步中嶋

分米壹石七斗五升五合

内 貳町廿貳步前々川欠

分米壹石七斗五升五合

九畝拾壹步去亥川欠

分米壹石貳斗壹升七合

合 壹反貳畝三步引

殘而 壹畝拾貳步

右之寄

上田貳町七反壹畝七步

分米三拾七石貳斗三升貳合

中田三町壹反八步

分米三拾七石貳斗三升貳合

一、下田式町四反三畝拾四步

分米貳拾四石三斗五升六合
六勺

一、上畑壹反七畝廿三步

分米壹石貳斗四升三合
六勺

一、下畑七反八畝拾三步

分米三石九斗貳升壹合
六勺

一、屋鋪貳反九畝拾步

分米貳石九斗三升三合

一、下田式町四反三畝拾四步

分米貳拾四石三斗五升六合
六勺

一、上畑壹反七畝廿三步

分米壹石貳斗四升三合
六勺

一、下畑七反八畝拾三步

分米三石九斗貳升壹合
六勺

一、屋鋪貳反九畝拾步

分米貳石九斗三升三合

右者前々高石持替
 名主組頭長百姓立
 合百姓前高石持替
 以細致吟味相改申し候
 惣百姓承知之上印形
 仕候、若相違之儀御
 座候ハハ、古帳と引
 合可申候、爲後日一
 連印仕候、以上

豆州田方郡
 文政六年 大竹村
 癸未二月

右者(は)前々ひろひを以
 名主、組頭、長百姓立
 合、百姓前高石持替
 明細致ニ吟味ニ相改申し候
 惣百姓承知之上印形
 仕候、若相違之儀御
 座候ハハ、古帳と引
 合可申候、爲後日一
 連印仕候、以上

豆州田方郡
 文政六年 大竹村
 癸未二月

伴 傳 久 惣 又 文 甚 源 宗 平 佐 仁 忠 藤 庄
 藏 左 右 助 兵 左 藏 助 七 右 平 右 七 兵 左
 印 印 印 印 印 印 印 印 印 印 印 印 印 印 印 印

伴 藏 印
 傳 左 衛 門 印
 久 右 衛 門 印
 惣 助 印
 又 兵 衛 印
 文 左 衛 門 印
 甚 藏 印
 源 助 印
 宗 七 印
 平 右 衛 門 印
 佐 平 治 印
 仁 右 衛 門 印
 忠 七 印
 藤 兵 衛 印
 庄 左 衛 門 印

名主
 榮藏
 百姓代
 幸左衛門



五郎左衛門
 兵藏
 良八
 光明院





名主
 榮藏
 百姓代
 幸左衛門



五郎左衛門
 兵藏
 良八
 光明院





卯年大廻様御先触写帳

天保十四年

大竹村

役場

天保十四年

卯年大廻様御先触写帳

九月廿八日

大竹村
役場

一、駕籠人足四人
 一、合羽籠持老人
 一、長持老棹人足三人
 一、夫馬式正
 一、荷物持老人
 一、帳箱持老人
 道名彌孫

覚

- 一、駕籠人足四人
- 一、合羽籠持老人
- 一、長持老棹人足三人
- 一、夫馬式正
- 内 老正郡組江
- 井沢門太夫
- 一、荷物持老人
- 一、帳箱持老人
- 進藤碩弥

右者當秋立毛為
見分一來ル二日罷越候間、
耕地切帳、村升合夕(勺)等
別而入念相違無レ之様
相認メ、名主組頭、村境以
罷出、案内可レ致候、尤自下
八人分休泊之村方ニ而
認メ等、支度可レ致候、勿論
兼而申付置候通、所有合
之品ヲ以、一汁一菜之外
決而差出間敷候、右ニ付
万端馳走ケ間敷儀、并
不用之人馬老人者正
差出申間敷候、以上
卯九月廿八日 地方御役所

右者當秋立毛為
見分一來ル二日罷越候間、
耕地切帳、村升合夕(勺)等
別而入念相違無レ之様
相認メ、名主組頭、村境以
罷出、案内可レ致候、尤自下
八人分休泊之村方ニ而
認メ等、支度可レ致候、勿論
兼而申付置候通、所有合
之品ヲ以、一汁一菜之外
決而差出間敷候、右ニ付
万端馳走ケ間敷儀、并
不用之人馬老人者正
差出申間敷候、以上
卯九月廿八日 地方御役所

閏九月二日

區修村 水野尾村 風祭村 入生田村 後河原村 湯本村 湯本茶屋 須雲川村 畑宿 箱根宿 塔ノ沢 大平臺村 底倉村

閏九月二日休

板橋村 水野尾村 風祭村 入生田村 後河原村 湯本村 湯本茶屋 須雲川村 畑宿 箱根宿 塔ノ沢 大平臺村 底倉村

同日泊
三日持出し休

芦ノ湯

宮城野村

仙石原村

東山新田

同日泊

深沢村

小倉野新田

桑木村

新芝村

口留休

竹之下村

所領村

口留休

小山村

生土村

中島村

湯船(船)村

同日泊
同日泊
三日持出し休

芦ノ湯

宮城野村

仙石原村

東山新田

同日泊

深沢村

小倉野新田

桑木村

新芝村

同四日休

竹之下村

所領村

小山村

同四日泊リ

生土村

中島村

湯船(船)村

右津村
 藤原村
 菅沼村
 菅沼村
 上野村
 上野新田
 中日向村
 柵頭村
 用沢村
 一色村
 下小林村
 古沢村
 上古城村
 下古城村
 大胡田村

同六日休

同日泊リ

同六日休

藤曲村
 菅沼村
 菅沼村
 上野新田
 上野村
 中日向村
 柵頭村
 用沢村
 一色村
 下小林村
 古沢村
 上古城村
 下古城村
 大胡田村

加古川
 坊田
 中丸
 大堰村
 清後
 山ノ尻
 山尾田
 六日市場
 塚原
 上小林
 芝怒田
 須走
 水士野新田
 芝怒田

同六日泊リ

同七日休

同同日泊リ

御代知
 下古城村
 増田村
 中丸村
 大堰村
 清後村
 山ノ尻村
 山尾田村
 六日市場村
 塚原村
 上小林村
 芝怒田村
 須走村
 水士野新田
 芝怒田村

八日

仁杉村

北久原村

御殿場村

二枚橋村

東田中村

新橋村

萩原村

茱萸沢村

西田中村

川島田村

杉名沢村

神場村

板妻村

保土沢新田

八日泊リ

同九日休

八日休

八日泊リ

同九日休

仁杉村

北久原村

御殿場村

二枚橋村

東田中村

新橋村

萩原村

茱萸沢村

西田中村

川島田村

杉名沢村

神場村

板妻村

保土沢新田

永塚村
 中畑村
 川柳新田
 印野村
 十里木新田
 深山村
 下和田村
 今里村
 駒門新田
 中清水村
 中山村
 電新田
 萩蕪村
 沼田村
 二子村

同日泊リ

同日休

同十一日休

同日泊リ

永塚村
 中畑村
 川柳新田
 印野村
 十里木新田
 深山村
 下和田村
 今里村
 駒門新田
 中清水村
 中山村
 電新田
 萩蕪村
 沼田村
 二子村

〇〇〇休

大坂村

神山村

岩波村

石脇村

佐野村

稲庭村

公文名村

茶畑村

平松新田

二ツ屋新田

麦塚村

茶畑村

東沢田村

小諏訪村

檜新田

同十二日休

同日泊リ

同十三日休

同日泊リ

同十四日休

大野新田
 外木村
 多島村
 松岡加島新田
 外木村
 大野新田
 檜新田
 小諏訪村
 徳倉村
 日守村
 小海村
 久連村
 古字村
 足保村

同日泊リ
 同日泊リ
 同日泊リ
 同日泊リ
 同日泊リ
 同日泊リ
 同日泊
 同日泊

同日泊
 同十八日持出し休

同日泊
 同十六日持出し休

八木沢村

八木沢村

門野原村

門野原村

大仁村

大仁村

田京村

田京村

多田村

多田村

梅名村

梅名村

安久村

安久村

下松本村

下松本村

長伏村

長伏村

上松本村

上松本村

平田村

平田村

玉川村

玉川村

青木村

青木村

梅名村

梅名村

安久村

安久村

同日泊リ

上沢村
 大竹村
 桑原村
 熱海
 門川村
 吉濱村
 門川村
 宮下村
 宮上村
 堀之内村
 鍛冶屋村
 吉濱村
 福浦村
 真鶴村
 岩村

同日泊リ

同廿四日休

同廿三日泊リ

同日泊
同廿三日持出し休

上沢村
 大竹村
 桑原村
 熱海
 門川村
 吉濱村
 門川村
 宮下村
 宮上村
 堀之内村
 鍛冶屋村
 吉濱村
 福浦村
 真鶴村
 岩村

江ノ浦村
 根府川村
 米神村
 石橋村
 早川村
 右村々
 追而村下致ニ印形一早々
 順達、留村ノ手代方江
 返却可。致候、尤請免
 村々者耕地切帳、不。及ニ
 差出一候、以上

同廿五日休

江ノ浦村
 根府川村
 米神村
 石橋村
 早川村
 右村々
 名主

天保十四癸卯年

年中諸入用取調拾帳

十二月八日

大竹村役場

天保十四癸卯(卯)年

年中諸入用取調拾帳

十二月八日

大竹村役場

一、盆前住選人足賃元金

一、永四〇(貫)八百拾文

三〇五〇(貫)五百三十三文五分

一、式(貫)四百七拾文

利永卷(貫)八百五拾文五分

二〇三〇(貫)三百貳拾九文五分

式口(貫)永八(貫)八百五拾四文

此訳五十九(貫)三百廿一文

盆前山會議用惣代江拂井

臨時之分

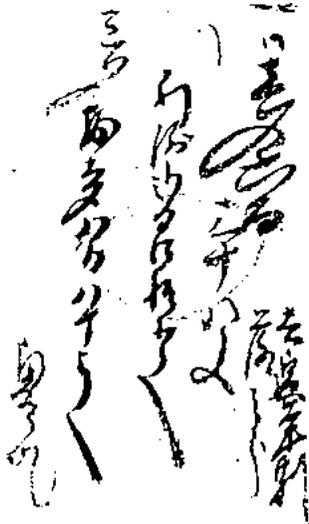
一、金貳朱

外式百八十五文

三口(貫)残貳(貫)百八十五文

又(貫)残六十七(貫)五拾八文

海道之分



暮出會雜用惣代給料共
見込
一、錢六百七拾五文

除
く

一、カ卷々(貫)六百
去寅年割
落之分
三十八文

外残式百四拾五文

三口ノ残卷々(貫)八百八十三文
貞作

一、金貳朱ト
 御目見之節
 組合割
 一、金貳朱
 去年割落
 別段入用之分
 一、〃卷分
 夫中間差金
 板橋渡し
 一、〃卷分ト
 同断
 御役所御上納
 卷文
 四百三拾
 一、錢六百三拾三文
 組合春割
 小田原二面
 一、金三分式朱ト
 組合夏割
 田京村二面
 一、同三百文
 瀬源寺
 殺代
 一、同三百文
 御目見之節
 夫人夫賃
 一、金九百文
 同断之節
 小田原雜用
 式月分
 〃金三両三分式朱
 残三〃三百七拾五文
 残として
 拾貳〃五百六十五文
 引残卷〃八百八十四文
 之少 〃残拾四〃四百五十三文

金式分式朱ト
 大廻リ様割
 桑原村ニ而
 計 枡 代
 不足之分
 一、鑄 百廿文
 一、金 式 朱
 米納別段
 入 用
 一、〃 式分式朱ト
 組合暮割
 小田原ニ而
 ぜに六百八拾七文
 一、錢 拾 九 文
 琉 球 人
 国役御上納
 〃 金 卷 両 三 分 式 朱
 九 百 三 十 式 文
 〃 錢 拾 〃 (貫) 百 式 拾 五 文
 利 七 百 五 十 九 文
 三 口 〃 拾 〃 (貫) 八 百 八 十 四 文
 武 口
 〃 武 拾 五 〃 (貫) 三 百 四 拾 卷 文
 外 二 卷 (貫) 八 百 八 十 三 文
 割 落 口
 〃 武 拾 七 〃 (貫) 式 百 廿 五 文
 證 入

一、金 壹百文 御割付之節
小田原雜用

四、(貫)五百八十文
證入

式口

一、金 壹 分 小田原雜用

四、(貫)五百八十文 證入

一、尾張屋
 一、尾張屋

一、錢拾弍文 尾張(州)八幡御師江
 一、"拾弍文 "国惣社御師江
 一、"拾弍文 島田宿出家江
 一、"拾弍文 常務(州)筑波山御師江
 一、"廿四文 勢務(州)尾務座頭江
 一、"百文 筆四本
 一、"三百七拾弍文 延紙五丈
 一、"五百文 大廻リ様御神酒
 一、"百廿四文 松油代
 一、"貳百八十四文 附木代
 一、"廿四文 濃務(州)座頭式人
 利 三 百 文
 錢三(貫)九百文七拾五文
 三〇(貫)四(貫)貳百七十五文〇

一、 幸田泊
 一、 七拾弍文
 一、 弍百文
 一、 拾弍文
 一、 百文
 一、 百文
 一、 三百五拾文
 一、 六百六十四文
 一、 弍百六十四文
 一、 拾弍文
 一、 拾弍文
 一、 百拾弍

一、 " 六十四文 成田泊リ

一、 " 七拾弍文 高札場
松板代

一、 " 弍百文 後ゼリ
泊リ 四人

一、 " 拾弍文 三湯(州)大濱村
座頭

一、 " 百文 松油代

一、 " 百文 豆腐作
栗代

一、 " 三百五拾文 白米弍升
〇〇の代

一、 " 六百六十四文 蓮代

一、 " 弍百六十四文 弍ツ
みかり

一、 " 拾弍文 宿座頭

一、 " 拾弍文 尾湯(州)今田
神主

一、 " 百拾弍 文半切紙
百枚

一、
 一、
 一、
 一、
 一、
 一、

一、" 百文 八 蠟 丁 代

一、" 三百七拾貳文 五 延 文 紙

一、" 三十五文 紙 鉄 砲 代 張

一、" 百文 太 粉 米 津 出 貨

利 八十七文

二口、四、(貫)百五十四文

貳口、六、(貫)四百七拾三文

老人ト式百三十六文ツツ

御蔵米 文右衛門

此石 八斗四升

此米 五斗四合

八斗貳升替

代永六百拾四文六分三厘

御蔵米 壹俵也 替米

十八日貳分貳厘五毛かへ

代永五百四拾八文五分八厘七毛

差引 永六十六文卷分貳厘壹毛

繩俵代 永四文八分五厘

永七拾文九分七厘七毛

此分當知(卯)割落

此錢四百七十三文

一、錢貳百文 樹取分へ

是も割落

一、錢百文 御札之代

是も割落

一、貳百四拾九文 御見分之節

取替利割落

「四口」卷(真)廿六文

爰に 米九升五合 九升幸左衛門計

代錢八百三十文 五合長 蔵計

引 百九十貳文 全く割落

奉令一札事

一令之旨事

所屬云云奉令申取仰
 意申上引成後並依家
 貸家ニ相成居候所去辰
 年中村方親類良助義
 一存之取計を以、家財共
 弥七江賣渡候段、全心得
 遣之義ニ付、此度及ニ取纏
 既ニ御上沙汰ニも可ニ相成候、
 拙者共、両組一同立入、夫々
 掛合之次第有レ之、双方円
 熟相整、家財代金拾巻
 両余之内ニ而、役方御年
 貢、其外諸勘定相立
 金三両致ニ手段、即、同良
 助相渡候上、無ニ異議一
 請取可レ被レ成処、為ニ相續
 人帰住一迄、両組江預ケ置
 一、金三両也

差入申一札之事

一、金三両也
 右者去ル亥年、貴殿伊
 豆山村江引越後、家作之義
 貸家ニ相成居候所、去辰
 年中村方親類良助義
 一存之取計を以、家財共
 弥七江賣渡候段、全心得
 遣之義ニ付、此度及ニ取纏
 既ニ御上沙汰ニも可ニ相成候、
 拙者共、両組一同立入、夫々
 掛合之次第有レ之、双方円
 熟相整、家財代金拾巻
 両余之内ニ而、役方御年
 貢、其外諸勘定相立
 金三両致ニ手段、即、同良
 助相渡候上、無ニ異議一
 請取可レ被レ成処、為ニ相續
 人帰住一迄、両組江預ケ置

后年之手當ニ被レ成度段、
 役向御頼ニ付一同承知、
 則、年考割之利付ニ定、徳ニ
 預利置、元利明細勘定
 相仕立、帰住之節、急度
 返濟可レ致事、

一、屋敷其外田畑等、有来ありきたり(在来)
 之通、組内ニ而相贈、年々
 御年貢皆濟いたし、
 聊不納無レ之様取計、且亦
 徳米等之有無、取調呉候様
 御頼ニ付、是又致ニ承知一候、
 其外不レ寄ニ何事一、成
 丈之世話いたし、誓何
 年他出被レ成居候共、無ニ
 別外一御取持可レ申条、少も
 相違無レ之候、後日預リ一
 札差入申処、如レ件、

弘化二己年九月廿七日
 長兵衛印
 周 藏印
 茂 吉印
 組親傳兵衛印
 金預リ文治郎印

弘化二年九月廿七日

長兵衛印

周藏印

傳三郎印

組親傳兵衛印

金預り啓十郎印

五兵衛印

利兵衛印

文藏殿後家
おさき殿

前書之通相違無之候、依而

致ニ奥印一候以上

百姓代要藏印

粗頭太兵衛印

菊八印

善藏印

名主又兵衛印



弘化四年未年

御用留

正月 日

大竹村

御家中、音信贈答衣服等之儀、去辰年被^ニ仰出^一有^レ之衣服之儀、来未年^ニ相改候^ニ付、郷方之儀、去寅年以來、委細申聞置候得共、御家中も嚴重^ニ被^レ仰候上者、弥心得違無^レ之様、堅く相守、農業等之道無^レ油断^一出精致^レ候様、可^ニ申聞^一候、取締筋之儀ハ其方共、専心配致候儀^ニ付、篤^{トク}与相弁へ、小前末々迄不^レ洩様、急度可^ニ申聞^一候、

午十二月廿九日

小川共藏

三人

一、加電人足
一、両掛老荷

小川共藏

右者明八日朝、安久村出立、小田原表江罷帰リ候間、右人足差出可^レ申候、以上

未二月七日

小川共藏

弘化三年年十二月

取締役共江

御家中、音信贈答衣服等之儀、去辰年被^ニ仰出^一有^レ之衣服之儀、来未年^ニ相改候^ニ付、郷方之儀、去寅年以來、委細申聞置候得共、御家中も嚴重^ニ被^レ仰候上者、弥心得違無^レ之様、堅く相守、農業等之道無^レ油断^一出精致^レ候様、可^ニ申聞^一候、取締筋之儀ハ其方共、専心配致候儀^ニ付、篤^{トク}与相弁へ、小前末々迄不^レ洩様、急度可^ニ申聞^一候、

右之通可^ニ相心得^一候、此段申達候 以上

午十二月廿九日

小川共藏

覚

一、加電人足

一、両掛老荷

小川共藏

右者明八日朝、安久村出立、小田原表江罷帰リ候間、右人足差出可^レ申候、以上

未二月七日

小川共藏

安久村

(板橋村迄、道筋村々

名主中)

此後御堅勝ニ御勤役被レ成珍重之御儀ニ
 奉レ存候、然ハ兼而御案内之田京村不足高調之儀
 正月中ニ調度旨、小前中申候得共、二月相成可レ調
 段、私より申入置候、余リ延候而も、氣受ニも抱リ
 申候間、何卒々々當十二日ニ各々様方乍ニ御苦勞ニ田京村迄
 御光来奉節、委細之儀ハ御高面ニ可ニ申上レ候間、何分
 無ニ御名代ニ御光来奉ニ願上候、以上

未二月十日

大仁村
 名主 甚右衛門

多田村
 御名主中 桑原村迄

大目付 江

盛姫君様、今日御逝去ニ付、来ル十六日迄
 鳴物御停止、普請者不レ苦候、
 右之通可レ被ニ相触レ候、

三月十日

右趣從ニ
 公義ニ被ニ仰出レ候間、其旨可ニ相心得レ候、尤寺社ニも
 可ニ申達レ候、以上

未三月十二日 地方御役所

桑原村ノ門野原村迄

御名主中

大目付
 盛姫君様
 鳴物御停止
 普請者不レ苦候
 右之通可レ被ニ相触レ候
 三月十日
 公義ニ被ニ仰出レ候間
 其旨可ニ相心得レ候
 尤寺社ニも可ニ申達レ候
 以上
 未三月十二日
 地方御役所
 桑原村ノ門野原村迄
 御名主中

殿様去廿二日申中刻、御帰城被。為、遊候間、
為、御祝儀、老組合ニ而、惣代名主老人、御役所江
早々可、被、罷出、候、以上、

未二月廿二日

川添勘助

未二月廿二日

川添勘助

乃、是、書、奉、在、也、也、也、

村簡共之儀、近年御用多ニ而、同難渋仕候、然ル処
村々ニおゐて村簡之者、諸役除高區々ニ有レ之
中ニハ極少分者も御座候而、別而難儀候ニ付、右之段
奉、嘆願、置候処、今般私共一同被、召出、被、仰聞、候ハ
嘆之趣、尤と思召候間、村簡諸役相除候分、代錢
御取調御座候処、中ニハ相應給料ニ相当リ候者も
有、之、又、繰ヅツ之者も多分有、之、右除役

乍、恐以、書付、願上候御事

村簡共之儀、近年御用多ニ而、同難渋仕候、然ル処
村々ニおゐて村簡之者、諸役除高區々ニ有レ之
中ニハ極少分者も御座候而、別而難儀候ニ付、右之段
奉、嘆願、置候処、今般私共一同被、召出、被、仰聞、候ハ
嘆之趣、尤と思召候間、村簡諸役相除候分、代錢
御取調御座候処、中ニハ相應給料ニ相当リ候者も
有、之、又、繰ヅツ之者も多分有、之、右除役

少し之分ハ御掛リ 御代官様ニ而御勘弁被レ成ニ下置
 候筈之由、且又、是迄急場御用之節者、最寄
 近村之村筒ニ而、専ラ相勤候ニ付、御役不平ニ罷成
 候間、以来平均勤致可レ申、尤急御用之節者
 近村之者ニ而相勤不レ申而ハ、御差支ニも相成候
 事故、一日、老人、何程与定、惣村筒ハ割合差出
 右相勤候者ハ、相渡候様致候ハハ、可レ然哉、又、
 何ぞ外ニ宜敷趣段（手段）も有レ之候哉、篤与申談候様
 被ニ仰聞候間、種々談合仕候得共、外ニ可レ附義も無ニ御座候
 被ニ仰聞候通、以来平均勤ニ仕、為難用除、小田原
 勤、一日、老人、銀三匁ツツ、御関所勤、一日、老人、銀式匁ツツ
 村筒一統ハ、割合差出候様、仕度奉レ存候、乍レ去
 手廣之村々ニ候へ者、其時之出銀も不行届ニ付
 乍レ恐、御役所様ニ而、御立替御拂被ニ下置候様
 奉ニ願上候、御返納之儀者、老ケ年分入用高、暮ニ
 （至リ、御役所様ニ而惣村筒へ、御割合御取立）

弘化四年三月三日
 下置候ハハ、一同難有仕合可奉存候、以上、
 相勤可申与奉存候、右、奉願上一候通、御聞濟被成
 被下置候様奉願候、然ル上者、御用無御差支

弘化四丁未年三月

怒田村
 川村迎原
 皆瀬川村
 三廻部村
 世附村
 湯本村
 底倉村
 同
 宮上村
 又左衛門

怒田村
 村筒小頭 六兵衛
 川村迎原
 同 与惣兵衛
 皆瀬川村
 同 茂右衛門
 三廻部村
 同 半三郎
 世附村
 同 長十郎
 湯本村
 同 与五右衛門
 底倉村
 同 市郎兵衛
 同
 宮上村
 (同) 又左衛門

御座候得共、各々様
 益々機嫌克御勤役被、爲在、大悦之至ニ奉、賀候、然ハ
 当年者何モ与違、御参勤御交代御早々御座候処、
 去ル十五日頃、大井川支候、諸家様大湊ニ相成候、同
 廿三日、大賄、今日ニ至迄モ相續、人馬賃錢ハ多分ニ
 (相成候、役馬勘弁錢迄、卷正ニ付、八九百文位、卷々)

御座候得共

竹之下村
 又左衛門
 清後村
 次郎左衛門
 二枚橋村
 又七
 印野村
 寛左衛門
 同
 神山村
 久右衛門
 同
 桑原村
 藤左衛門

地方
 御手代中様

以ニ廻章一得ニ御意一候、暖氣之砌ニ御座候得共、各々様
 益々機嫌克御勤役被、爲在、大悦之至ニ奉、賀候、然ハ
 当年者何モ与違、御参勤御交代御早々御座候処、
 去ル十五日頃、大井川支候、諸家様大湊ニ相成候、同
 廿三日、大賄、今日ニ至迄モ相續、人馬賃錢ハ多分ニ
 (相成候、役馬勘弁錢迄、卷正ニ付、八九百文位、卷々)

竹之下村
 同
 清後村
 同
 二枚橋村
 同
 印野村
 同
 神山村
 同
 桑原村
 同

又左衛門
 次郎左衛門
 又七
 寛左衛門
 久右衛門
 藤左衛門

式百文迄差出、其而已ならず、箱根、小田原馬込
 頼入、取上申程之儀、誠ニ以込可レ申候、猶又、此節
 弥、相場引上ケ、賣銀等ニ差支、前金ならでハ
 手二人不レ申候、無レ余儀、以レ廻章ニ申上候、何卒乍、御無心
 当月分賃金、明二日与リ集、人ヲ以申上候間、御一同
 様方御心配被レ下、無レ相違ニ御出金被レ下度、奉レ願上候、以上、
 四町組
 伊三郎

未四月朔日

伊三郎

賞

一、人足老人

清水助次郎

右者為ニ御用ニ明四日田京村迄、罷越候間、
 右人足差出村繼可ニ相届一候、以上

四月三日

小川 共 藏

板橋村

田京村迄

先々名主中

(右御用ニ而地方組、堀部万之助罷越候間、依而)

一人足老人
 清水助次郎
 田京村迄
 板橋村
 先々名主中

14

三人

一、帳箱持老人
一、荷物持老人

村松作蔵

右者、明三日、川除御普請請為ニ見分一日守村迄
罷越候間、右人足明朝、宅江遣、村繼可ニ相届一候、以上

未四月二日 地方御役所 板橋村江先々

以ニ配府一申達候、然者徳川式部卿様
去ル七日、御逝去ニ付、普請ハ今九日迄、鳴物、
音曲之儀ハ、来ル十三日迄御停止ニ候、
右之儀、從ニ
公義一被ニ仰出一候間、其旨可ニ相心得一、尤寺社江も
可ニ申通一候、以上

此ノ旨迄

(村次申達候、以上)

四月三日

清水助次郎

覚

一、帳箱持老人
一、荷物持老人

村松作蔵

右者、明三日、川除御普請請為ニ見分一日守村迄
罷越候間、右人足明朝、宅江遣、村繼可ニ相届一候、以上

未四月二日

地方御役所

板橋村江先々

以ニ配府一申達候、然者徳川式部卿様
去ル七日、御逝去ニ付、普請ハ今九日迄、鳴物、
音曲之儀ハ、来ル十三日迄御停止ニ候、
右之儀、從ニ
公義一被ニ仰出一候間、其旨可ニ相心得一、尤寺社江も
可ニ申通一候、以上

五月九日

地方御役所

徳川昌丸様、去ル廿日、御逝去ニ付、普請請者
 今廿二日迄、鳴物ハ来ル廿六日迄、御停止之旨
 右之趣從ニ
 公義一被ニ仰出ニ候間、其旨可ニ相心得ニ候、尤寺社江も
 可ニ申通ニ候以上

未八月廿二日
 地方御役所
 田方郡松浪

女院、大宮御事、去十三日、崩御ニ付、廿一日ハ
 廿三日迄、鳴物御停止候、普請者御構無ニ候、
 右之趣從ニ
 公義一被ニ仰出ニ候間、其旨相心得候、尤寺社江も、可ニ申通ニ候以上
 未十月廿三日
 地方御役所

徳川昌丸様、去ル廿日、御逝去ニ付、普請請者
 今廿二日迄、鳴物ハ来ル廿六日迄、御停止之旨
 右之趣從ニ
 公義一被ニ仰出ニ候間、其旨可ニ相心得ニ候、尤寺社江も
 可ニ申通ニ候以上

未八月廿二日
 地方御役所
 田方郡松浪

女院、大宮御事、去十三日、崩御ニ付、廿一日ハ
 廿三日迄、鳴物御停止候、普請者御構無ニ候、
 右之趣從ニ
 公義一被ニ仰出ニ候間、其旨相心得候、尤寺社江も、可ニ申通ニ候以上
 未十月廿三日
 地方御役所

以ニ配府一申達候、然者、当未年御物成割付
 来十一日、地方御役所ニおゐて、相渡候間、
 (名主耆人、与頭耆人、尤名主無ニ之村方者)

与頭兩人可罷出一候、此段申達候、以上、

十一月四日

小川 共 藏

追而、九十才其外、被下物有之村方、手形差上可被申候、且ツ前日、手代宅江差届可致候、此配府、早々順達、留村返却可致候、以上、

未申年改之儀、出郷改ニ候間、其旨相心得、宗旨寺替等、相改帳面支度仕有之候、尤日限之儀ハ到ニ来春ニ可申触候、以上

十一月五日

目取貞兵衛

清水仁三郎

火元用心之儀、兼々申渡置候通り、弥入念昼夜共、下々ニ不任置、自身ニ見回リ、風立候節、猶以油断有之間敷、火所之儀

名主与頭立合相改可申候、尤、火所籠（粗）末ニ
 不レ致候、例年之通證文帳、判相認メ、此廻状ニ
 相添、廻リ留ム、村繼可レ有ニ返却一候、以上

未十一月五日

早川与左衛門
 早川茂右衛門

追而、村下致ニ印形一、別紙證文ニ寺号仮名ニ記
 致ニ印形一、先々江廻リ留ム、村繼可レ有ニ返却一候、以上

追而、村下致ニ印形一、別紙證文ニ寺号仮名ニ記
 致ニ印形一、先々江廻リ留ム、村繼可レ有ニ返却一候、以上

三元

火所御改御廻状候而、名主与頭立合、火所
 吟味仕、御触之趣、奉レ畏候、昼夜共、火之元
 随分入念下々、申任候佩ニ不レ仕、自身ニ相改申候、為レ其
 帳判差上申候、以上

未十一月

大竹村

光明院

五月
 大竹村
 光明院

奉レ預御米一札之事

一、御米百廿三俵也

右者當未御年貢米蔵江御詰被遊候所
私共封印致、儲ニ奉ニ御預一候処、実正ニ御座候、
然ル上者、昼夜番人等申付置、村役人時々
相廻リ龜末ニ不ニ相成一様、御大切ニ可仕候、且火
元之儀者、別而入レ念、是又御大切ニ可仕候、為ニ後日一
御預リ一札仍而如レ件

弘化四丁未年十一月

豆州田方郡大竹村

平田領藏様

与頭 虎太郎
百姓代 由右衛門

去七日出會仕候者、初冬三島宿名主卯兵衛殿
（卷丁田村名主半左衛門殿、被立入、賃金取究之上）

去七日出會仕候者、初冬三島宿名主卯兵衛殿
（卷丁田村名主半左衛門殿、被立入、賃金取究之上）

宿方江熱談致具候様、被ニ申入一一同衆評之上
 右之通取極申候、
 高百石之付金七兩貳分

此取ケ
 金五兩貳分 自 余
 金貳分 近所御往来多ニ付相増
 金壹分 臨時見込
 金貳分 沼津焼ニ付別段
 改レ馬之儀者是迫之通

右之通取究、宿方江及ニ熱談一宿方ハ
 一札受取之候、勿論月割金之儀ハ左之通
 金貳分 正月割 金壹兩 二月割
 金三分 三月割 金壹兩 四月割
 金三分 五月割 金貳分 六月割
 金貳分 七月割 金壹兩 八月割
 金貳分 九月割 金貳分 十月割
 金貳分 十一月割

宿方江熱談致具候様、被ニ申入一一同衆評之上
 右之通取極申候、
 高百石之付金七兩貳分

此取ケ
 金五兩貳分 自 余
 金貳分 近所御往来多ニ付相増
 金壹分 臨時見込
 金貳分 沼津焼ニ付別段
 改レ馬之儀者是迫之通

右之通取究、宿方江及ニ熱談一宿方ハ
 一札受取之候、勿論月割金之儀ハ左之通

金貳分 正月割 金壹兩 二月割
 金三分 三月割 金壹兩 四月割
 金三分 五月割 金貳分 六月割
 金貳分 七月割 金壹兩 八月割
 金貳分 九月割 金貳分 十月割
 金貳分 十一月割

其
月

伊三郎
格藏
順助
百姓代
茂兵衛
弥七
周助
万助
縫助右衛門

御
入
事

一、駿河国駿東郡何村百姓權兵衛悻十兵衛、当
申廿才ニ罷成申候、代々禪宗ニ而、拙寺旦那ニ
御座候処、大竹村五助名跡ニ縁付遣申候処、
右五助代々禪宗ニ而、桑原村高源寺旦那ニ有レ之候間、
寺替仕、高源寺旦那ニ罷成度旨、相願申候、
依レ之拙寺方、少しも構無御座候、願之通可レ被
仰付一候、為ニ後日一仍而如レ件

(可レ被レ下候、以上)

申正月

百姓代

順助
格藏
伊三郎
茂兵衛
弥七
周助
万助
縫助右衛門

證文之事

一、駿河国駿東郡何村百姓權兵衛悻十兵衛、当
申廿才ニ罷成申候、代々禪宗ニ而、拙寺旦那ニ
御座候処、大竹村五助名跡ニ縁付遣申候処、
右五助代々禪宗ニ而、桑原村高源寺旦那ニ有レ之候間、
寺替仕、高源寺旦那ニ罷成度旨、相願申候、
依レ之拙寺方、少しも構無御座候、願之通可レ被
仰付一候、為ニ後日一仍而如レ件

弘化五申年三月

同国駿東郡何村

寺号印

弘化五申年三月 駿河国庵原郡興津 清見寺在

同国駿東郡何村

寺号印

寺社

御奉行所

一札

一、拙寺旦那何村権兵衛倅十兵衛義、大竹村五助名跡ニ遣申候、右之者寺替仕、同宗ニ罷成度旨、相願申候ニ付、則願之通一札相渡

申候間、拙寺方少しも構無御座候間、勿論貴寺御且中ニ御加工可被成候、為ニ後日一仍而如件

弘化五申年三月 駿州駿東郡何村

何寺印

桑原村

高源寺

一札

一、當村小百姓権兵衛倅十兵衛、當申廿才ニ罷成申候、

(右之者代々禪宗ニ而何村何寺旦那ニ御座候処)

此右五助... 弘化五申年三月... 貴御村方五助名跡ニ縁付遣申候ニ付寺替仕、右五助与同宗ニ罷成度由、相願申上候間、則旦那寺無ク構旨、願之通證文相添遣申候間、貴御村方ニ而御支配可レ被レ下候、一札相渡候上者、当村方一切構無御座候、為ニ後日一仍而如レ件

弘化五申年三月

駿州駿東郡何村

名主 与頭 印

上网对馬守知行所

弘化五申年三月

駿州駿東郡何村

名主 与頭 印

大久保加賀守様御領分

大竹村

大竹村

御名主中

覚

轉役

加藤東馬

轉役

加藤東馬

郡奉行

黒柳久兵衛

郡奉行

黒柳久兵衛

右之通今般被ニ仰付一候間、其旨可ニ相心得一候、以上

正月十一日

川口大七郎

(田方郡組合)

(村々名主中)

沈み事

一、駿州駿東郡何村百姓何々之悴、文吉
當寅三十式才ニ罷成申候、代々何宗ニ而拙寺
且那ニ御座候処、大竹村文左衛門名跡ニ縁付
遣申候処、右文左衛門代々禪宗ニ而、桑原村
且那ニ御座候間、寺替仕高原寺且那ニ
罷成度旨被ニ相願候ニ付、拙寺方少も
構無御座候間、願之通被ニ仰付一候、為ニ後日
仍而如レ件

嘉永七年三月
何宗末
何宗末

寺号印

御奉行所

證文之事

一、駿州駿東郡何村百姓何々之悴、文吉
當寅三十式才ニ罷成申候、代々何宗ニ而拙寺
且那ニ御座候処、大竹村文左衛門名跡ニ縁付
遣申候処、右文左衛門代々禪宗ニ而、桑原村
且那ニ御座候間、寺替仕高原寺且那ニ
罷成度旨被ニ相願候ニ付、拙寺方少も
構無御座候間、願之通被ニ仰付一候、為ニ後日
仍而如レ件

嘉永七年三月

何宗(州)何郡何村

何宗末

駿州駿東郡何村

寺号印

神社

御奉行所

一 札

一、當村小百姓何兵衛粹文吉、當寅三十二才ニ
罷成申候、右之者何宗ニ而何寺旦那ニ御座候處、
貴御村方、文左衛門名跡ニ縁付遣申候ニ付き
寺替仕、右文左衛門同宗ニ罷成度由相願
申候間、則旦那寺無ク構旨、願之通證文
相添遣申候間、貴御村方御人別ニ差加ヘ
御支配可被下候、一札相渡候上者、當村方
一切構無御座候、為ニ後日一依而如ク件

嘉永七甲寅年三月駿州駿東郡

水野出羽守領分

香貫村

名主

与頭

同

大久保加賀守御領分

大竹村

御名主中

大久保加賀守御領分
大竹村
御名主中

下畑村百姓久右衛門娘いよ、當辰ノ何才ニ罷成

申候、去卯暮、縁付参リ申候、此者代々禪宗ニ而
拙寺且那ニ御座候得共、右專吉禪宗ニ而
當村藏春院且那ニ罷成度由、相願申候、
尤、下畑村永明寺ニ無ニ相違一旨、證文取置、相
添差上申候間、願之通被ニ仰付、被ニ下置一候ハハ
難、有仕合ニ可、奉、存候、已上
田京村
藏春院

寺社御奉行所

年 号
月 日

寺社御奉行所

右專吉女房いよ、寺替之儀、私共吟味仕
候処、藏春院被ニ相願一通、相違無ニ御座候、
尤、只今之且那寺ニ無ニ相違一旨、證文取置
相添差上申候間、右願之通被ニ仰付、被ニ下置一
候ハハ、私共追難、有仕合ニ可、奉、存候、已上

年 号

月 日

役人印

(寺社)

一札

拙寺且那何村何兵衛倅文吉義
大竹村文左衛門名跡ニ遣申候、右之者寺替
仕、同宗ニ罷成度旨相願申候ニ付、則願之通
一札相渡申候間、拙寺方少しも構無御座候、
勿論、貴寺御且中御差加へ可レ被レ成候、
為ニ後日一仍而如レ件
嘉永七年三月
駿州駿東郡
香貫村
寺号印

桑原村
桑源寺

桑原村
桑源寺

嘉永七年甲寅年三月
駿州駿東郡
香貫村
寺号印

一、豆州田方郡大竹村小百姓文左衛門名跡ニ駿州駿東郡
 香貫村小百姓平吉倅文吉、當寅三拾貳才ニ罷成、去丑暮
 縁付参リ申候、此者代々代々禪宗ニ而拙寺旦那ニ御座候処、右
 文吉、寺替仕、同宗旦那ニ罷成度由、相願申候、尤香貫村
 靈山寺ニ無ニ相違ニ旨、證文取置、相添差上申候間、願之通
 被ニ仰付ニ被ニ下置ニ候ハハ、難ニ有仕合可ニ奉レ存候、已上
 嘉永七甲寅年四月
 豆州田方郡桑原村
 桑源寺

寺社
 御奉行所

右文左衛門方養子文吉寺替之儀、私共吟味仕候処、
 桑源寺被ニ相願ニ候通、相違無ニ御座ニ候、尤、只今迄之
 旦那寺ニ無ニ相違ニ旨、證文取置相添差上申候間、
 右願之通被ニ仰付ニ被ニ下置ニ候ハハ、私共迄難ニ有仕合
 可ニ奉レ存候、已上

同州同郡大竹村

寺社
 御奉行所様

嘉永七甲寅年四月
 同州同郡大竹村
 名主 虎太郎

二拾伍枚

嘉永二己酉年

小田原領

伊豆國田方郡大竹村切支丹宗門御改御帳

仁丹之内

寺帳共

嘉永二己酉年

小田原領

伊豆國田方郡大竹村切支丹宗門御改御帳

四冊之内

寺帳共

差上申一札之事

一、切支御制禁御高札之趣、次從小田原每年

沙改被_レ仰付_レ旨、相堅相守候事、

一、五人組之儀者不_レ及_レ申、郷中古今切支丹

宗門之者、無_レ御座候事、

一、五人組之外、男女、大小人共御帳不_レ附者、耆人も

御座無候事、

差上申一札之事

一、切支御制禁御高札之趣、次從小田原每年

御改被_レ仰付_レ旨、相堅相守候事、

一、五人組之儀者不_レ及_レ申、郷中古今切支丹

宗門之者、無_レ御座候事、

一、五人組之外、男女、大小人共御帳不_レ附者、耆人も

御座無候事、

一、入作、散田仕候共、其地主、其人之宗門無、紛を承届
 相對可、仕候事、
 一切支丹者勿論、あやしき宗門之者、承次第

可ニ申上一候事、

右之趣於相背者曲事可被仰付候、為後日仍如件

嘉永二己酉年

田方郡大竹村

六人組

名主 虎太郎
 百姓 幸右衛門
 " 甚藏
 無田 久藏
 百姓 茂助
 " 長藏

寺社御奉行所様

一、入作、散田仕候共、其地主、其人之宗門無、紛を承届

相對可、仕候事、

一切支丹者勿論、あやしき宗門之者、承次第

可ニ申上一候事、

右之趣於相背者曲事可被仰付候、為後日仍如件

嘉永二己酉年

田方郡大竹村

六人組

名主 虎太郎
 百姓 幸右衛門
 " 甚藏
 無田 久藏
 百姓 茂助
 " 長藏

寺社御奉行所様

虎太郎 右六人組 法花宗旦那 大場村 妙 園 寺

女房

女子みす

男子東馬

幸右衛門

女房

男子三五郎

男子萬吉

男子幸治

同女房

四十六
一、
右六人組
法花宗旦那
大場村
園
寺

三十四

女房

八ツ

女子みす

式ツ

男子東馬 是者出生

五十六
一、

幸右衛門 同

同

六十卷

女房

二十四

男子三五郎

十八

男子萬吉

二十六

男子幸治

二十四

同女房

一、三十七 甚藏
 二、三十七 同
 三、五十七 母
 四、四十六 女房
 五、三十四 男子吉藏
 六、二十六 男子甚兵衛 御他領江縁付申候
 七、二十五 同女房
 八、三ツ 同女子たつ
 九、二十 去改後出生仕候
 十、二十 女子いそ
 十一、四十式 久藏 同
 十二、四十式 母 同
 十三、八ツ 弟源治

三十七
 三十七
 五十七
 四十六
 三十四
 二十六
 二十五
 三ツ
 二十
 二十
 四十式
 四十式
 八ツ

甚藏
 同
 母
 女房
 男子吉藏
 男子甚兵衛 御他領江縁付申候
 同女房
 同女子たつ
 去改後出生仕候
 女子いそ
 久藏 同
 母 同
 弟源治

弟寅松

妹とめ

茂助

女房

男子定七

女子とく

男子三治

男子金治

男子宇吉

長藏

四ツ

三ツ

一、四十九

四十七

二十

十七

十式

八ツ

三ツ

一、四十

弟寅松

妹とめ

茂助

女房

男子定七

女子とく

男子三治

男子金治

男子宇吉

長藏

同

同

同

同

女房

御他領江縁付申候

男子長吉

女子やす

男子林治

男子乙吉

右男女大小人共

合三拾五人内

男式拾人
女拾五人

此旦那寺

三十九

女房

十六

御他領江縁付申候

十卷

男子長吉

八ツ

女子やす

七ツ

男子林治

三ツ

男子乙吉

右男女大小人共

合三拾五人内

男式拾人
女拾五人

此旦那寺

右印判仕候之振興人受布施派法花宗ニ而、拙僧且那
 之儀堅請負申候、若脇ノ何と申者御座候ハハ、何方迄モ
 罷出、急度申訳可レ仕候、為ニ後日一仍如レ件、

伊豆國金谷村本立寺末寺

大場村

妙宗寺

右之通宗旨銘々御改被レ成候ニ付、堅吟味仕、切支丹
 宗門之者、老人も無ニ御座一候間、五人組判形仕井且那寺
 宗旨證據之印形被レ致候通、少も紛無ニ御座一候、且那寺
 本寺ヲモ、慥ニ承レ届疑敷無ニ御座一候、次元禄四辛未年ノ
 御制禁被ニ仰出ニ候悲田不受不施之宗門僧俗男女共
 老人も無ニ御座一候、為ニ後日一仍如レ件

右印判仕候ニ拾五人受布施派法花宗ニ而、拙僧且那

無ニ紛候、常々吟味仕、切支丹宗門之者、老人も無ニ御座一候、宗旨

之儀堅請負申候、若脇ノ何と申者御座候ハハ、何方迄モ

罷出、急度申訳可レ仕候、為ニ後日一仍如レ件、

伊豆國金谷村本立寺末寺

大場村

妙宗寺

右之通宗旨銘々御改被レ成候ニ付、堅吟味仕、切支丹

宗門之者、老人も無ニ御座一候間、五人組判形仕井且那寺

宗旨證據之印形被レ致候通、少も紛無ニ御座一候、且那寺

本寺ヲモ、慥ニ承レ届疑敷無ニ御座一候、次元禄四辛未年ノ

御制禁被ニ仰出ニ候悲田不受不施之宗門僧俗男女共

老人も無ニ御座一候、為ニ後日一仍如レ件

嘉永二己酉年

大竹村

名主 虎太郎

寺社御奉行所様

田方郡大竹村

百姓 由美

〃 勘兵衛

六人組

百姓 安五郎

〃 伝五郎

〃 忠藏

寺社御奉行所様

嘉永二己酉年

大竹村

名主 虎太郎

寺社奉行所様

田方郡大竹村

百姓 由右衛門

〃 勘兵衛

六人組

無田 安五郎

百姓 伝右衛門

〃 忠藏

〃 八十八

寺社御奉行所様

一、由重 右六人組 禪宗旦那 桑原村 高源寺
 母
 女房
 女子きん
 男子林藏
 一、勘兵衛 同
 母
 女房
 女子なか 去改後出生仕候
 安五郎 同

三十八
 一、由右衛門 右六人組 禪宗旦那 桑原村 高源寺
 母
 六十二
 女房
 三十三
 女房
 十卷
 女子きん
 七ツ
 男子林藏
 一、三十三
 勘兵衛 同
 六十三
 母 去改後死去仕候
 二十五
 女房
 三ツ
 男子彦四
 二ツ
 女子なか 去改後出生仕候
 四十七
 安五郎 同

伝右衛門

女房

忠藏

八十八

女子むら

右六人組

合拾五人内
男七人
女八人

一、四十

伝右衛門

同

同

三十三

女房

一、式十四

忠藏

同

同

一、四十六

八十八

同

同

拾式

女子むら

右六人組

合拾五人内

男七人

女八人

田方郡大竹村

五人組

百姓兵藏
庄左衛門
源兵衛後家
惣助後家
無田吉兵衛

寺社様

右五人組
桑原村
高源寺
兵藏
禪宗旦那

男子安右衛門

男子仁三郎

男子与三郎

男子富三

田方郡大竹村

五人組

百姓兵藏
庄左衛門
源兵衛後家
惣助後家
無田吉兵衛

寺社様

右五人組
桑原村
高源寺
兵藏
禪宗旦那

男子安右衛門

男子仁三郎

男子与三郎

男子富三

一、庄左衛門

女房

婿庄右衛門

同女房

同男子庄七

同女子うた

源兵衛後家

父安左衛門

男子安五郎

惣助後家

一、七十四
庄左衛門
同
同

六十六
女房

五十四
婿庄右衛門

四十四
同女房

十八
同男子庄七

三ツ
同女子うた

一、四十八
源兵衛後家
同
同

八十一
父安左衛門

二十四
男子安五郎

一、四十八
惣助後家
同
同

男子源藏

口女房

男子丑松 是者出生

吉兵衛

右五人組
合拾九人内
男拾三人
女六人

合拾九人内

此且那寺

男拾三人
女拾四人

二十七

男子源藏

二十卷

同女房

二ツ

同男子丑松 是者出生

七十一

吉兵衛

同 同

右五人組

合拾九人内

男拾三人
女六人

△口 三拾四人内

男拾三人
女拾四人

此且那寺

右印判仕候三拾四人禪宗

伊豆國宮上村最勝院末寺

桑原村

三心源寺

田方郡大竹村

百姓

文左衛門

良八後家

同 志平人

幸右衛門

四人組

寺社様

右印判仕候三拾四人禪宗 二面

伊豆國宮上村最勝院末寺

桑原村

高源寺

田方郡大竹村

百姓 文左衛門

同 良八後家

無田 しゆん

同 幸右衛門

四人組

寺社様

文左衛門 右四人組
禪宗旦那
桑原村
桑源寺

女房

良八後家 同
桑原村
高源寺

男子良吉

男子良右衛門

女房

男子朝吉 是者出生

しゅん 同
桑原村
桑源寺

幸右衛門

女房

五十五
一、
文左衛門 右四人組
禪宗旦那
桑原村
桑源寺

五十六
女房

五十六
一、
良八後家 同
桑原村
高源寺

三十七
男子良吉

二十七
男子良右衛門

二十式
女房

式
男子朝吉 是者出生

三十六
一、
しゅん 同
桑原村
桑源寺

三十四
幸右衛門

三十
女房

男子松治

男子安治

右四人組

合拾貳人内

男子七人

女子五人

七人

駿河國深良村興禪寺末寺

桑原村

桑源寺

五人

伊豆國宮上村最勝院末寺

桑原村

高源寺

八ツ

男子松治

五ツ

男子安治

右四人組

合拾貳人内

男子七人

女子五人

此且那寺

駿河國深良村興禪寺末寺

桑原村

桑源寺

七人

伊豆國宮上村最勝院末寺

桑原村

高源寺

五人

嘉永二己酉年

小田原領

伊豆國田方郡大竹村切支丹宗旨御改寺證文

比丹内

宗帳

嘉永二己酉年

小田原領

伊豆國田方郡大竹村切支丹宗旨御改寺證文

四冊之内

寺帳

御座候者

證文之事

一、當寺中二而召仕候者、井門前地借店借居住之者、迫不、殘
 相改、切支丹宗門之者、不、及、申、あやしき宗門之者、老人も
 無、御座候、總、而僧俗男女共行衛不、知者、差置申間敷候事、
 一、小田原江奉公人之内、拙僧且那之分宗旨無、紛旨其主人江
 手形出置候者之内、若切支丹宗門之旨、申族於、有、之、者
 拙僧何方迄も罷出、急度申訳可、仕候事、

證文之事

一、當寺中二而召仕候者、井門前地借店借居住之者、迫不、殘
 相改、切支丹宗門之者、不、及、申、あやしき宗門之者、老人も
 無、御座候、總、而僧俗男女共行衛不、知者、差置申間敷候事、
 一、小田原江奉公人之内、拙僧且那之分宗旨無、紛旨其主人江
 手形出置候者之内、若切支丹宗門之旨、申族於、有、之、者
 拙僧何方迄も罷出、急度申訳可、仕候事、

右之通今度切支丹宗門御改ニ付為ニ後日、仍如レ件

嘉永二己酉年

相模國一ノ沢淨苑願寺末寺

一、天台宗 法國山 光明院

寺社御奉行所

一、光明院 天台宗 五拾八歳

僧老人住持

右之通寺内僧俗并門前地借店借居住之者迄不レ殘

宗旨銘々御改被レ成候ニ付、堅吟味仕切支丹宗門之者老人も

無ニ御座ニ候間、則住持證文被レ致、并拙者共判形仕差上申候

次元祿四辛未年、御制禁被ニ仰出ニ候、悲田不受不施之宗門

僧俗男女共老人も無ニ御座ニ候、為ニ後日、仍如レ件

右之通今度切支丹宗門御改ニ付為ニ後日、仍如レ件

嘉永二己酉年

相模國一ノ沢淨苑願寺末寺

一、天台宗 法國山 光明院

寺社御奉行所

一、光明院 天台宗 五拾八歳

僧老人住持

右之通寺内僧俗并門前地借店借居住之者迄不レ殘

宗旨銘々御改被レ成候ニ付、堅吟味仕切支丹宗門之者老人も

無ニ御座ニ候間、則住持證文被レ致、并拙者共判形仕差上申候

次元祿四辛未年、御制禁被ニ仰出ニ候、悲田不受不施之宗門

僧俗男女共老人も無ニ御座ニ候、為ニ後日、仍如レ件

嘉永二己酉年

大竹村

名主 虎太郎

寺社御奉行所様

伊豆國田方郡大竹村西年人別一紙目錄

伊豆國田方郡大竹村西年人別一紙目錄

一、高百四石卷升六合

一、家數合貳拾壹軒内
五軒無田

一、人數合八拾壹人内
男四拾七人
女三拾四人
○拾三人

嘉永二己酉年

大竹村

名主 虎太郎

寺社御奉行所様

伊豆國田方郡大竹村西年人別一紙目錄

一、高百四石卷升六合

一、家數合貳拾壹軒内
拾八軒本百姓
五軒無田

去申御改引合老人減申候

男四拾七人

一、人數合八拾壹人内
女三拾四人

此訳

○拾三人

右人数の内
 拾貳人内
 右人数の内
 拾貳人内
 右人数の内
 拾貳人内

寺内
 去申御改引合増減無御座一候
 馬数合足

天台宗
 法園山
 光明院

春日大明神
 志社
 村中抱

六拾
 男七拾壹人
 女貳拾九人
 人名主本百姓

拾貳人内
 男八人
 女四人
 無田

右人数之内
 去申御改以後出生候者

外二
 男 壹人

去申御改以後死人
 馬数合足△口四疋

寺人内
 男 壹人

女 壹人
 去西御改以後御他領へ縁付参り候者
 (相模國一ノ沢浄苑願寺末寺)

一、天台宗
 法園山
 光明院

寺内
 御除地
 去西御改引合増減無御座一候
 僧 壹人
 住持

一、春日大明神
 志社
 村中抱

一、八幡大菩薩 志社 村中抱

一、山神宮 志社 村中抱

寺老ケ寺
宮三社

右之通當西年宗門并人別一紙目錄
少も相違無二御座一候、以上

嘉永二己酉年
大竹村
名主 虎太郎

寺社御奉行所様

一、八幡大菩薩 志社 村中抱

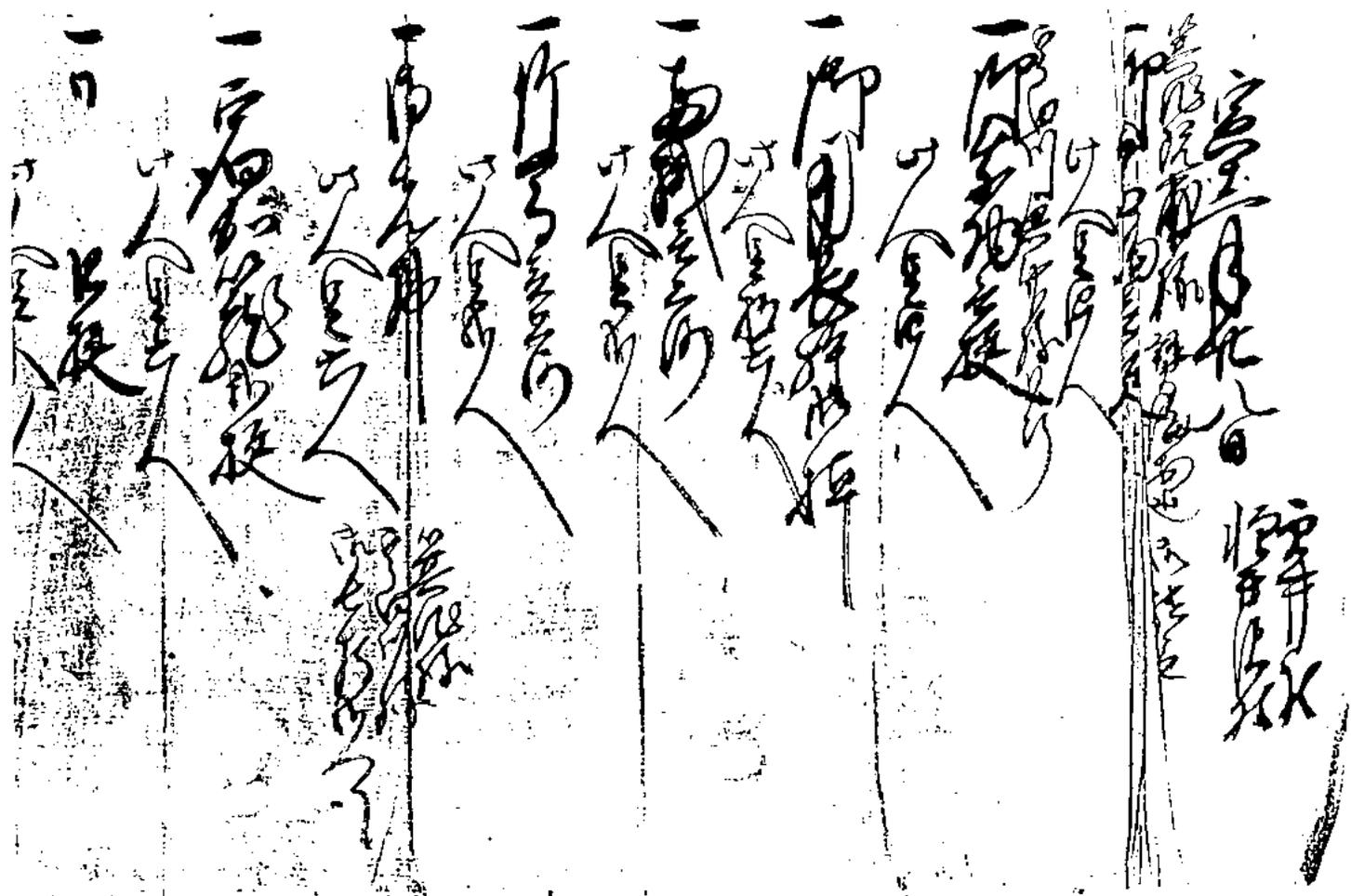
一、山神宮 志社 村中抱

右同断
寺老ケ寺
宮三社

右之通當西年宗門并人別一紙目錄
少も相違無二御座一候、以上

嘉永二己酉年
大竹村
名主 虎太郎

寺社御奉行所様



宣
室
院
有
所
御
立

平井
村

平井村
宣十二月廿八日 輕井沢村

箕作阮甫様熱海村迄御繼立

一、御乗物 老 挺

此人足四人

宇田川奥竹様同断

一、御乗物 老 挺

此人足四人

一、御用長持式棹

此人足拾六人

一、面掛 老 荷

此人足式人

一、竹馬 老 荷

此人足式人

一、御 先 拂

此人足六人

箕作
宇田川
御長持式人

一、宿加籠式挺

此人足六人

一、同 四挺

此人足八人

立人足五拾五人
 老人ニ付六百文ツ、
 一人足 四人御先触夜中
 両度式人ツ、
 一、松明持四人
 此賃巻ノ五百文但し老人三百文ツ、
 一人足三拾人 是夫人足其外
 持廻リ廻状人足共
 此賃四ノ五百文老人百五十四文
 一人足拾五人 是當日餘リ人足
 賃之分
 巻ノ五百文
 惣ノ四拾式ノ(貫)貳百文
 内

殘百八十六文
 是實人足式人
 御拂有之候分
 此割高
 四拾貳拾文
 八千貳百四拾八石
 高百石二付
 錢五百九文三分
 一、高四百四拾六石 上沢村
 一、百四石 大竹村
 一、貳百九拾石 桑原村
 一、百三拾石 多呂村
 一、百廿七石 北沢村
 一、三百拾貳石 中島村
 (一、七百六拾三石 大場村)
 一、八百六拾八石 間宮村

殘百八十六文 是實人足式人
 御拂有之候分

差引

四拾貳拾文

此割高

八千貳百四拾八石

高百石二付

錢五百九文三分

一、高四百四拾六石 上沢村

一、百四石 大竹村

一、貳百九拾石 桑原村

一、百三拾石 多呂村

一、百廿七石 北沢村

一、三百拾貳石 中島村

(一、七百六拾三石 大場村)

一、八百六拾八石 間宮村

一、高百五拾三石
 一、九百八拾石
 一、八百八拾八石
 一、四百貳石
 一、六百廿五石
 一、六百八拾九石
 一、三百五拾六石
 一、百四拾六石
 一、百六拾貳石
 一、七拾四石
 一、七百三拾三石

大土肥村
 仁田村
 柏谷村
 畑毛村
 北奈古谷村
 南奈古谷村
 丹那村
 畑村
 田代村
 輕井沢村
 平井村

一、高百五拾三石
 一、九百八拾石
 一、八百八拾八石
 一、四百貳石
 一、六百廿五石
 一、六百八拾九石
 一、三百五拾六石
 一、百四拾六石
 一、百六拾貳石
 一、七拾四石
 一、七百三拾三石

安政五年
 南園省負年御蔵納出辻庭帳
 十一月十三日
 大竹村

安政五年年

當午御年貢米御蔵納出辻庭帳

十一月十三日

大竹村

一、米拾俵也
 一、卷表（俵）也
 一、五表（俵）也
 一、三表（俵）也
 一、三表（俵）也
 廿式表（俵）也
 四表（俵）
 三俵七升
 六升
 式俵也
 拾式俵三斗四升式合自分納
 小以廿三俵式升八合
 差引
 卷俵壹斗式升八合
 内 七月十一日
 卷俵也 盆貸米二而相納
 壹斗式升八合、七月十一日相納

良右衛門

給米

桑原藏江納

重右衛門

長藏納

幸右衛門納

卷斗重右衛門納不足

内 四斗六合 弥兵衛江納

虎太郎江納

伴藏江納

清吉江納

二月八日 幸次郎

三月八日 幸次郎

三月八日

三月八日 幸次郎

幸次郎

一、米 八 俵

廿七日 俵 式斗 卷 升

暮不納

米五俵九升式合五勺

代金二而證文二相廻ル

拾四俵三斗式合五勺

内 訳

五俵式斗四升虎太郎納

三俵式斗卷升光明院納

式表(俵)三斗五升桑原

小田原領江

式表式斗八升式合同

御知行所 江

卷斗五勺 手前分納

小以拾四表(俵)三斗式合五勺

三斗拾俵也
 一、米拾俵也
 廿七、俵三升三合
 外二
 米九俵也
 桑原藏 江入
 納人久左衛門
 清八
 廿七、俵三升三合

九俵三斗六合
 手前分納
 同斷
 高畔分納
 三俵式斗三升
 桑原分
 小田原領納
 式俵式斗四升
 御知行所納
 同
 四斗入口
 六升
 伴藏 江納
 小以米式拾七俵三升三合
 但し四斗式升とし而

庄右衛門
 一、米拾俵也
 廿七、俵三升三合
 外二
 米九俵也
 桑原藏 江入
 納人久左衛門
 清八
 廿七、俵三升三合

内
 九俵三斗六合
 手前分納
 同斷
 高畔分納
 三俵式斗三升
 桑原分
 小田原領納
 式俵式斗四升
 御知行所納
 同
 四斗入口
 六升
 伴藏 江納
 小以米式拾七俵三升三合
 但し四斗式升とし而

新左衛門

二市三俵也

十一月廿四日

一、同卷俵也

三俵也 此分虎太郎 納

一、米貳俵九升五合 自分納 辻

内貳斗 卷 升 久藏 納

卷俵三斗五合 良吉 納

小以 貳俵九升五合

廿七日

一、米拾三俵 甚兵衛

新左衛門 後 家

一、米 卷 俵 也

十一月廿四日

一、同 卷 俵 也

三 俵 也 此 分 虎 太 郎 納

一、米 貳 俵 九 升 五 合 自 分 納 辻

内 貳 斗 卷 升 久 藏 納

卷 俵 三 斗 五 合 良 吉 納

小 以 貳 俵 九 升 五 合

廿 七 日

一、米 拾 三 俵 甚 兵 衛

合 計 拾 三 俵 卷 斗 三 升 四 合

一、卷 斗 三 升 四 合

内 訳

三 俵 也 虎 太 郎 納

拾 俵 卷 斗 三 升 四 合 自 分 納

一、米貳拾壹俵 長 藏

七、俵也 虎太郎 江納

壹斗六升六合五勺 同人 江納

老斗四升 同 燭方斷

三俵也 良右衛門 江納

正米貳斗九升也 光明院 江納

三斗貳升 内三升午違作之引之由 二納

三俵也 也 万吉 江納

三俵壹斗六升六合手前 江納

四俵也 桑原分六反田

小以 廿壹俵三斗七升貳合五勺

差引 米三斗七升貳合五勺不足

内三升寺分引

上田四畝拾八步

米三斗四升壹合

当午荒地引

又差引壹合五勺也 万吉引米ニテ

納

定例

米三俵 壹斗六升六合

内米三斗四升壹合 当午荒

引而米貳俵貳斗四升五合

一、米四俵也
 二、九合

米式斗九升 長藏納廻ル
 三俵式斗老升 幸次郎納
 八俵八升八合

一、米七俵也
 二、同式俵也

同代納
 同老斗八升
 九俵老斗八升
 三俵也 虎太郎納
 六俵老斗八升 手前分納
 三斗式升 光明院 江納
 合九俵老斗八升也

光明院

兵藏

- 一、米四俵也
- 二、九合
- 外二
- 米式斗九升 長藏納廻ル
- 三俵式斗老升 幸次郎納
- 八俵八升八合
- 一、米七俵也
- 二、同式俵也
- 同代納
- 同老斗八升
- 九俵老斗八升
- 内 訳
- 三俵也 虎太郎納
- 六俵老斗八升 手前分納
- 三斗式升 光明院 江納
- 合九俵老斗八升也

一、米六俵 安七

一、同日 糶米半俵也

一、同日 卷斗六升

合

一、同日 卷斗六升
一、同日 糶米半俵也
一、同日 卷斗六升
一、同日 糶米半俵也
一、同日 卷斗六升
一、同日 糶米半俵也
一、同日 卷斗六升
一、同日 糶米半俵也
一、同日 卷斗六升
一、同日 糶米半俵也

要 七

一、米六俵也

廿七日
一、卷斗式升六合八勺

同日
一、糶米半俵也
但し式斗入

同日
一、卷斗六升

合

内

米四表(俵)也
虎太郎 江納
同断上ノ山分

卷斗八合
卷割引而

卷斗六升
同断浜井場分

式表(俵)卷升四合
水汲戸納

卷斗卷升六合
屋敷納

式升
良吉納

六升八合八勺
源助 江納

小以 米七表(俵)六升六合八勺

一、米拾俵也
 一、三斗七升四合四勺
 合
 拾表（儀）也 虎太郎 江納
 卷斗 式 升 同斷 浜井場 江納
 式斗 卷升 新左衛門 江納
 四升四合四勺 自 分 納
 小以米拾表（儀）三斗七升四合四勺
 久藏

一、米拾俵也
 廿四日
 一、三斗七升四合四勺

久藏

合
 拾表（儀）也 虎太郎 江納
 卷斗 式 升 同斷 浜井場 江納
 式斗 卷升 新左衛門 江納
 四升四合四勺 自 分 納
 小以米拾表（儀）三斗七升四合四勺

下名
 一、由表(俄)斗六升
 二、由表(俄)斗六升
 三、由表(俄)斗六升
 四、由表(俄)斗六升
 五、由表(俄)斗六升
 六、由表(俄)斗六升
 七、由表(俄)斗六升
 八、由表(俄)斗六升
 九、由表(俄)斗六升
 十、由表(俄)斗六升
 十一、由表(俄)斗六升
 十二、由表(俄)斗六升
 十三、由表(俄)斗六升
 十四、由表(俄)斗六升
 十五、由表(俄)斗六升
 十六、由表(俄)斗六升
 十七、由表(俄)斗六升
 十八、由表(俄)斗六升
 十九、由表(俄)斗六升
 二十、由表(俄)斗六升
 二十一、由表(俄)斗六升
 二十二、由表(俄)斗六升
 二十三、由表(俄)斗六升
 二十四、由表(俄)斗六升
 二十五、由表(俄)斗六升
 二十六、由表(俄)斗六升
 二十七、由表(俄)斗六升
 二十八、由表(俄)斗六升
 二十九、由表(俄)斗六升
 三十、由表(俄)斗六升
 三十一、由表(俄)斗六升
 三十二、由表(俄)斗六升
 三十三、由表(俄)斗六升
 三十四、由表(俄)斗六升
 三十五、由表(俄)斗六升
 三十六、由表(俄)斗六升
 三十七、由表(俄)斗六升
 三十八、由表(俄)斗六升
 三十九、由表(俄)斗六升
 四十、由表(俄)斗六升
 四十一、由表(俄)斗六升
 四十二、由表(俄)斗六升
 四十三、由表(俄)斗六升
 四十四、由表(俄)斗六升
 四十五、由表(俄)斗六升
 四十六、由表(俄)斗六升
 四十七、由表(俄)斗六升
 四十八、由表(俄)斗六升
 四十九、由表(俄)斗六升
 五十、由表(俄)斗六升
 五十一、由表(俄)斗六升
 五十二、由表(俄)斗六升
 五十三、由表(俄)斗六升
 五十四、由表(俄)斗六升
 五十五、由表(俄)斗六升
 五十六、由表(俄)斗六升
 五十七、由表(俄)斗六升
 五十八、由表(俄)斗六升
 五十九、由表(俄)斗六升
 六十、由表(俄)斗六升
 六十一、由表(俄)斗六升
 六十二、由表(俄)斗六升
 六十三、由表(俄)斗六升
 六十四、由表(俄)斗六升
 六十五、由表(俄)斗六升
 六十六、由表(俄)斗六升
 六十七、由表(俄)斗六升
 六十八、由表(俄)斗六升
 六十九、由表(俄)斗六升
 七十、由表(俄)斗六升
 七十一、由表(俄)斗六升
 七十二、由表(俄)斗六升
 七十三、由表(俄)斗六升
 七十四、由表(俄)斗六升
 七十五、由表(俄)斗六升
 七十六、由表(俄)斗六升
 七十七、由表(俄)斗六升
 七十八、由表(俄)斗六升
 七十九、由表(俄)斗六升
 八十、由表(俄)斗六升
 八十一、由表(俄)斗六升
 八十二、由表(俄)斗六升
 八十三、由表(俄)斗六升
 八十四、由表(俄)斗六升
 八十五、由表(俄)斗六升
 八十六、由表(俄)斗六升
 八十七、由表(俄)斗六升
 八十八、由表(俄)斗六升
 八十九、由表(俄)斗六升
 九十、由表(俄)斗六升
 九十一、由表(俄)斗六升
 九十二、由表(俄)斗六升
 九十三、由表(俄)斗六升
 九十四、由表(俄)斗六升
 九十五、由表(俄)斗六升
 九十六、由表(俄)斗六升
 九十七、由表(俄)斗六升
 九十八、由表(俄)斗六升
 九十九、由表(俄)斗六升
 一百、由表(俄)斗六升

万吉

一、米五俵 壹斗六升 壹合 納 辻

内

米三俵 貳斗六升 良吉計

同式表(俄)三斗 長藏計

小以六表(俄)壹斗四升 納

差引

米三斗九升九合 過米

内

米三斗 壹合

十三卷分 壹厘かへ

此錢三々七百拾八文 此分夫錢江相廻ル

引而 九升八合 過米也

此分相返ス

皆濟

一、由張之儀之 年定
 二、儀斗 虎太郎分
 三、儀斗 良右衛門分
 四、儀斗 宮免
 五、儀斗 伴藏
 六、儀斗 小引
 七、儀斗 差引
 八、儀斗 合拾三儀式升三合
 九、儀斗 但書損相見
 十、儀斗 三儀式斗五升四勺之處正当也
 十一、儀斗 外二式升八当分伴藏援助之積リ

幸右衛門

一、米拾三儀也

内

五儀斗四升 虎太郎分 江納

三儀也 良右衛門分 江納
宮免 江納

老儀老斗四升九合

式升 伴藏 江納

三儀式斗三升四合 自分納

小以 十三儀式升三合

差引

米式升三合不足
此分廿七日相納 ル

合拾三儀式升三合

但書損相見 江

三儀式斗五升四勺之處正当也

外二式升八当分伴藏援助之積リ

午御助成金ニ而納
一、米九升八合

かん

午御助成金ニ而納
一、米九升八合

かん

十月廿六日
彦七
幸次郎預ケ
虎太郎分江納

十月廿六日
彦七
幸次郎預ケ
虎太郎分江納

三斗六俵也

一、四俵三斗式升卷合

合

桑原分小田原領納

五表(俵)三升三合

同御知行所納

五表(俵)三斗九升四合

一、米 六 俵 也

定 七

廿日七日

合

内

老斗九升四合 手前分納

桑原分小田原領納

五表(俵)三升三合

同御知行所納

五表(俵)三斗九升四合

桑原村

未正月廿六日 米 吉

一、米 老 俵 半 也 代納人 彦四郎

十二四分かへ

代金老兩三朱ト 百四拾九文玉沢善助江 納

Handwritten notes in cursive script, including names like 彦四郎 and 桑原村.

一、米六俵也
 廿七日
 一、六俵式斗式升四合

文左衛門

一、米六俵也

廿七日
 一、六俵式斗式升四合

合

内

六俵八合 手前分納

桑原分御知行所納
 五俵三斗三升式合

四斗四合 桑原分六反田納

小以拾式表(俵)式斗式升四合

但し四斗式升与して

内

式升四合不納
 此分暮二代二而納

合俵八合
 桑原分御知行所納
 五俵三斗三升式合
 四斗四合 桑原分六反田納
 小以拾式表(俵)式斗式升四合
 但し四斗式升与して
 式升四合不納
 此分暮二代二而納

一、米 卷 儀 也
清 吉

一、廿七日 升 貳 合 但し志ゆん 五納

一、米 三升 卷 合 五勺 下田拾六步 當午荒引

外二 貳表(儀)也 良右衛門納相廻ル

差 引 米 三斗六升九合五勺 不納

十貳八下(分) 代金貳分三朱也

一、廿七日 升 貳 合 但し志ゆん 五納

一、米拾俵也
 外二
 七俵半 桑原藏江納
 合
 拾七俵式斗卷升
 内
 六俵卷斗五合 虎太郎江納
 八升五合之内卷わり引而
 七升六合五勺 同人江納
 四俵也 万吉江納
 卷俵三斗五合 由右衛門納
 七表(俵)三十六升四合之内江
 五俵卷斗四升三合五勺 自分江納
 小以拾七俵半
 差引
 式俵式斗式升五勺 不納
 内
 式升 粟七納
 卷斗六升 万吉分引方
 又 差引 相廻ル
 式表(俵)四升五勺也
 外二卷斗四合 拾五貫目分
 合式表(俵)卷斗四升四合五勺不納
 拾式八分(分)
 此永卷(貫)八百三十一文式分五里(厘)
 未永式百七十四文六分九里(厘)
 (申三月山代金二而相納)

(良吉)

一、米 四 俵 也
廿七日

一、卷 俵

外二 米式表(俵)卷斗八升四合
定便給差引残

合 七 俵 卷 斗 八 四 合 也

此廻虎太郎分江可納者

米七俵三斗卷升五合也

差引 卷斗三升卷合不納

外二 卷斗四升卷合 居屋敷納辻 不納

不納合 御蔵米式斗七升式合也

此利式升七合

外二 御蔵米三斗三升五合 午年不納

之未ノ村御蔵江 未十一月廿八日納

皆 濟

一、米 七斗
 桑原 庄 藏

十二月廿七日
 一、米 三升四合
 外二 文
 夫錢預リ
 久左衛門

十二月廿七日
 一、米 七斗
 桑原 庄 藏

十二月廿七日
 一、米 三升四合
 外二 文
 夫錢預リ
 久左衛門

萬延元申年

往還国役村入用小前割帳

十二月九日

大竹村
名主虎太郎

萬延元申年

往還国役村入用小前割帳

十二月九日

大竹村
名主虎太郎

長六念信中山御札諸勸化
村入用

一、錢五(貫)五百四拾三文

是八年中山之御札諸勸化
村入用

一、〃四(貫)六百八拾文

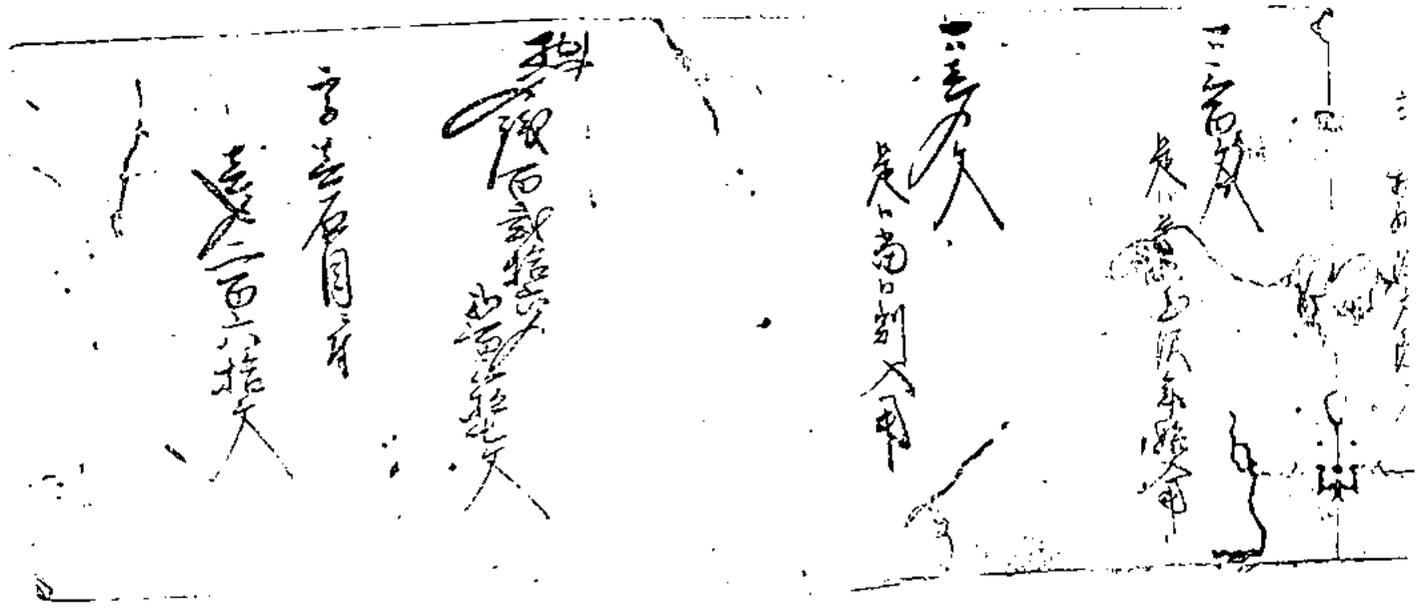
是ハ御拝借八十ヶ年賦其外
口々国役金手段金高割
三分廿(貫)

一、〃三(貫)五百四拾八文

是ハ蔵附入用無利足者

一、

阿部様御年貢米帳尻過米二而
當々相納、從、是除ク



一、" 三百文

是ハ韭山、玉沢年始入用

一、" 卷々 (貫) 文

是ハ当日割入用

惣 錢百貳拾六々 (貫) 貳百三拾七文

高卷石目ニ付

卷々 (貫) 二百六拾文

一、錢式ノ(貫)六百
傳右衛門

一、" 貳百貳拾九文
伴 藏

一、" 百八拾六文
長 七

一、" 六ノ(貫)八百
六拾文 良 吉

一、" 五(貫)四百三拾六文
文左衛門

一、錢式ノ(貫)六百
六拾三文 傳右衛門

一、" 貳百貳拾九文
伴 藏

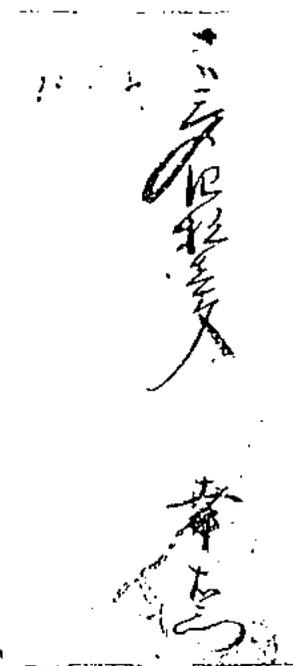
一、" 百八拾六文
長 七

一、" 六ノ(貫)八百
六拾文 良 吉

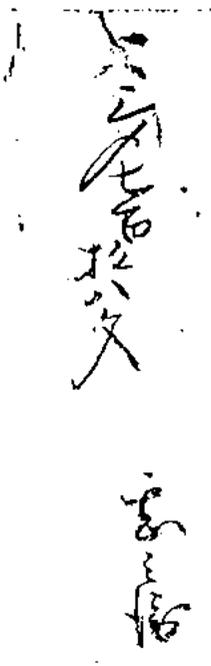
一、" 五(貫)四百三拾六文
文左衛門



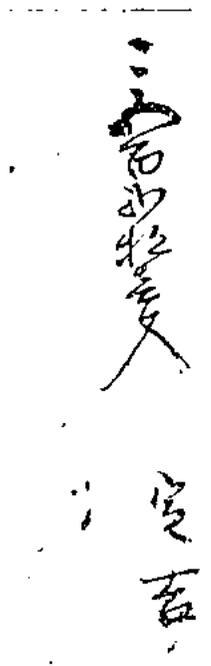
一、" 百六文 源 助



一、" 三 (貫) 四拾壹文 幸 右衛門



一、" 三 (貫) 七百 拾八文 甚 兵衛



一、" 五百貳拾壹文 定 吉



因 因 因 因 文 久 藏

二百六拾九文
幸次郎

二百六拾貳文
拾五(頁)目

貳(頁)百八文
由右衛門

拾壹(頁)九百三文
庄右衛門

拾四(頁)八拾五文
良右衛門

一、"五百六拾九文 幸次郎

一、"百六拾貳文 拾五(頁)目

一、"貳(頁)百八文 由右衛門

一、"拾壹(頁)九百三文 庄右衛門

一、"拾四(頁)八拾五文 良右衛門

一、錢五ノ(貫)四百拾八文

安右衛門

一、" 卷ノ(貫)八百五拾三文

要七

一、" 七ノ(貫)五百六拾文

光明院

一、" 七百四拾六文

お志(し)ゆん

一、" 七拾文

平右衛門

一、錢五ノ(貫)四百拾八文 安右衛門

一、" 卷ノ(貫)八百五拾三文 要七

一、" 七ノ(貫)五百六拾文 光明院

一、" 七百四拾六文 お志(し)ゆん

一、" 七拾文 平右衛門

一、 鎌六拾式ノ(實)八百拾五文

是者盆前後、往還掛リ高百石ニ付
金六兩貳歩、外ニ壹歩貳朱ト
永五十文、其外共雜用元利

一、 〃 四拾四ノ(實)三拾壹文

是ハ夫中間納、并組合割

一、 〃 四ノ(實)三百拾貳文

是ハ年中村役人小田原行

一、 鎌六拾式ノ(實)八百拾五文

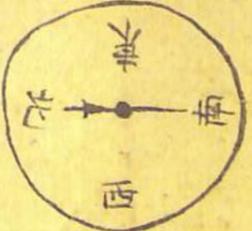
是者盆前後、往還掛リ高百石ニ付
金六兩貳歩、外ニ壹歩貳朱ト
永五十文、其外共雜用元利

一、 〃 四拾四ノ(實)三拾壹文

是ハ夫中間納、并組合割

一、 〃 四ノ(實)三百拾貳文

是ハ年中村役人小田原行
(小使)



- 道路
- 川水
- 他村
- 自村田
- 自村畑并橋
- 自村山
- 石堰



明治四年辛未年六月

伊豆国田方郡

大竹村
 祖氏 栗田幸八
 谷主 田中尾崎郎

上澤村

玉澤

与在五日

用水堰長六間

此水樹高四有石三并零

赤田の

用水堰長四有石三間

中三尺

前田の

用水堰長八間

此水樹高石三并三系

中三尺

前田の

用水堰長七間

此水樹高石五并四下三

中三尺

馬踏の

用水堰長三有石二間

中三尺

馬踏の

用水堰長八間

此水樹高石五并四下四

中三尺

馬踏の

用水堰長石五有石二間

中三尺

冷川通

用水堰長五間

此水樹高石五并三并

前田の

用水堰長四有石三間

中三尺

右用水六所自赤田

但此系自赤田而

伊豆田方郡大竹村

水源若根山送川より流来赤田村境より川長四里
半大竹村地内より三石五分肥田村元福嶋より
川長七里有余日折より折野川へ合入日折より津津川長
四里有半日折より折野川へ合入日折より津津川長

前川

冷川

水源若根山若根山より流来赤田村境より川長四里
半大竹村地内より三石五分南村上日折境より赤田
赤川へ合流

高百五石四合

伊豆田方郡大竹村

高百四石五合

小田原藩所支配

高九斗八并八合

葦山縣所支配

赤川通

用水堰長五間

此水樹高石五并五并一六合

中三尺

用水堰長百七有石二間

中三尺

右修儀之妻久延年村人豆先出砂落年泖水防
水我作人乃之福南生果別修村費多所居人

一橋三所長三間半

巾三人

右自秀修所

但修所自秀修所居人去年才由未也五十年
儀共多之人是費中多別修村費多所居人

右之通三個字為上知本題之修所居人

右村

組次

以治四年未年六月

卷之

栗四幸八

甲午歲

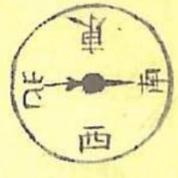


韭山縣

清後所

明治五年
 伊豆國方那
 大井村
 新塚兵表
 田中虎太郎
 第三十九區
 伊豆國方那
 大井村
 新塚兵表
 田中虎太郎

● 川
 ● 山
 ● 細
 ● 田
 ● 川
 ● 道
 ● 村境
 ● 屋敷



明治五年
 十月

第三十九區

伊豆國方那
 大井村
 新塚兵表
 田中虎太郎







函南町古文書資料集 (三)

— 大竹・田中家古文書 (巻) —

発行 函南町教育委員会

刊行 平成 9 年 3 月

印刷 三島市梅名 720

衛 森山印刷

